

2月17日（土）10時00分～12時30分 松並青葉東集会所

Q	A
きょうだい2人がいて、令和7年度と11年度に入学する予定で、結構年の差がある。その間にスクールバス終了となった場合、下の子はどうなるのか。このような年の差があっても同じ学校に通えるのか。	スクールバス通学を選択いただいた場合は、途中で（スクールバス）終了が決まっても、卒業まではスクールバスを運行します。年の差があっても、きょうだいはスクールバス通学で同じ学校に通えるよう考えています。 ※事務局追記：より大きな年の差のあるケースも想定されるため、スクールバス終了時期を審議する際に、通学可能期間については十分検討していきます。
P20に定員超過の場合は抽選予定と書いてあるが、令和11の御所ヶ丘小の定員が少ない（P24）。人数が溢れて、抽選の結果もれたら上の子と同じ御所に行けないのか。 小学校が抽選になるのは聞いたことがない。市の都合で希望を出して、はじかれるのは、納得いかない。	きょうだいがいる場合は、優先的に同じ学校に行けるよう、詳細について内部で検討します。
P23（新1年生の受入れ人数） 受入れ先の学校を増築して多くの人数を受け入れられるようにして、どちらかの学校によせることはできないのか。周りの子どもと一緒に行けた方がよい。多い方に行かせたい。	おっしゃるとおりですが、増築となると工事期間も必要となります。また、希望者はできる限り希望する学校に移動できるよう、検討しますが、受入先を一つの学校に限定すると、受入校が大規模化してしまいます。
P9（学校運営） 黒内小学校の昼休み3部制は、昼休みの枠をわけているのか。ほかの学校よりも昼休み（自由時間）が短いのか	黒内小では、昼休みを3部制とし、一つはスタディタイム（黒内小独自の取組）でドリル学習、もう一つはお掃除、もう一つは昼休みにして、運動場が混みあって怪我しないようにしています。スタディタイムを設けることで、宿題を出していません。 また、時差登校していることから、休み時間は他の学校より5分程度短く、15分となっています。
朝の時間の見守り等だが、PTAの見守りはどこもあるのか。	PTA活動は学校ごとに内容が違いますので、各学校のPTA会長に話を聞いて確認します。 黒内小は、下校時はPTA活動「黒サポ（ボランティア）」として見守り活動を行い、朝の交通安全は市の配置による通学補助員が行っています。 黒内小のPTAは、会長の意向でできる人ができることを、負担の無いような形で活動しています。 ※事務局追記： 御所ヶ丘小学校は、令和5年度は当番制で登校時の見守り活動を実施。令和6年度以降はできる方がボランティアで対応する形となる予定。 郷州小学校は、地区ごとに希望時間帯の意向調査を行い、保護者全員で登下校時の見守りを行っている。
スクールバス導入について。変更先に御所ヶ丘小、郷州小とあるが、黒内小も選べるのか？	選択制なので、黒内小も選べるし、スクールバスを利用して御所ヶ丘小もしくは郷州小に通うこともできま

	す。黒内小から変更する場合は、教育委員会に申立をしてもらいます。
原則は黒内小で、希望者は他 2 校にスクールバスで行けるといふことか。	そのとおりです。
御所ヶ丘小、郷州小の児童が増えることの教員の確保はできているのか。	教員の配置は義務教育標準法（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律）で決まっているため、茨城県から定数配置人数は確保してもらいます。 また、守谷市は市費の講師も配置しているので、他市の教員配置に比べて配置は手厚いと考えています。
教員 1 人あたりの児童数が増え、一人の教員が見る児童が増え、御対応を計画されているのか。 学習のクオリティが下がってしまいますのでないか。 松並青葉地区から御所ヶ丘小、郷州小が増えたことによって各地区が心配されているのではないか。	定数配置で行っているので問題ありません。
（松並青葉の子どもたちが移動することで）御所ヶ丘小や郷州小に元々通っている方々が嫌な思いをすることで、我々が居心地悪くなったりしないか。 車でお迎えに行くと、地元の方々に不便をかけるのではないか。配慮は考えているのか。	各小学校の PTA に説明をして理解いただいています。
移動先の地区へ相談はしていないか。	対策を決定していないと動けません。 先月末に御所ヶ丘小、郷州小 PTA の役員への説明は終了しております。 通学区域審議会には関係する校長先生も入っているため、情報共有はなされています。 ひとり一人の理解を得ているかについては、理解を得ていない状況です。
近隣に住まわれている住民に話をしているか。	該当地区にはまだ説明をしていません。今後はご理解いただく必要があるので、対策決定後は、保護者だけではなく、該当地区にも説明します。
3 月上旬の答申前か、後にするのか、答申と議決の間か。決まったことをご理解くださいなのか、これでよろしいでしょうかという形となるのか。 3 月中に了承を得るのか？	答申と議決の間の予定です。 地域の方々に説明させていただいて、了承を得た形でスムーズにもっていけたらと思っています。区長さん、まちづくり協議会の皆様と協議し、3 月中に了承を得ていく予定です。
北園交差点の児童数は、松並青葉だけで 500～700 人いるが、小学校一校分だが、新設は考えられないのか。中学校も同じような形で溢れていくと思われるが、そういった対策をまったくせずに学区だけいじることしか考えていないのか。	新設は用地の確保、地盤調査対策等で 5 年ほどかかるので、課題解決には間に合わず、さらに膨大な費用もかかります。 仮に松並青葉地区の近くに土地があり、建設できても、児童数の減少で将来的に小規模校になってしまいます。今後は、松並青葉地区周辺以外に開発できる場所はほとんどないため、国道 294 号線から東側の児童数の

	状況を加味しながら、市全体の学校配置方針を検討します。
教育委員会のメリットだけでなく、黒内小周辺に5千人住んでいて、避難先としてのキャパがない。防災の観点からも新設は必要ではないか。防災の面を含めて、議論したほうが良いのではないか。	都市計画課と企画課など関係部署と協議します。
松並青葉は黒内小学区で、選択制となるが、想定より移動者数が少なかった場合の次のプランはあるのか。	できるかぎり選択いただけるよう努めますが、移動人数が少なかった場合、敷地内に特別教室（理科室、図画工室）や教室を保有するプレハブを建築する予定です。
アンケートの対象は松並青葉の子どもがいる家庭限定か？	各町内会の会長さんをお願いをして、お子さんをお持ちではない方も含め、各戸配布をさせていただきました。
センシティブな内容なので子どもがいる家庭のみに聞いた方がよいのではないか。どういう意見があるかを精査するためにも対象を絞ったほうが良いと思う。影響のないかたにとってはどちらでもよい。そのようなアンケート結果で、賛成が多いから問題ない、という結論付けは危険である。	学校は地域の問題だとの意見があり、松並青葉全体にアンケートを取らせていただきました。
新守谷区画整理での人口推移は？学区の御所ヶ丘小の受入れができなくなるか？	新守谷の住宅地の推計を出し、反映させたうえで計算しているため問題ありません。この地域は、通学審議会では黒内小学校から御所ヶ丘小学校に変更しました。御所ヶ丘小の移動前推計値には、開発区域を反映させた数値も入れています。
北園交差点、歩道橋やガードレールの整備について検討はないのか。	以前からも意見をいただいております。市から歩道橋の要望もしています。しかし、日中の利用者数がほとんどないことから、予算を投じるのは難しいとの県からの回答があり、頓挫しています。 そのため現在は歩道の拡幅で対策してもらっており、市では通学補助員を配置し、安全に渡れるよう見守っています。 警察では、歩道信号機の歩行者が渡る時間を一番長くなる設定にしてもらっており、学校としても時差登校でなるべく混まないように対応しています。 これ以上児童が増える場合は、例えば守谷駅のベデストリアンデッキを利用するような通学ルートに見直すなどの対策も検討する必要があります。 実際、大野小では歩道のない県道が最短距離の通学路となっていますが、地域の方々が付き添い、裏道の田んぼ道などの安全なルートを通るようにしています。黒内小についても、皆様と協議しながら決めていきたいと考えています。
在校生が卒業したら下の子は別の学校に行くのか？	選択制のため、きょうだいと同じ学校に通わなければ

西暦で表記してもらえたらありがたい。	いけないということではありません。 西暦記載は、検討します。
今回の説明会でなにを得て審議会に持ち帰るかを確認したい。実現可能性を加味した上で答申を行うと思うが、二週間以内に答申を出すということであれば、時間が非常に少ない。 この説明会の意味合いとしては、他の小学校にどうやったら通える気持ちになるのかを聞く場ということとでよろしいか。	その通りです。 方針案の改良可能な部分がどこにあるか、すり合わせする場としたいと考えています。
学校の新設はできない。歩道橋もお金がないし、県が協力しないからできない。ただ、交差点に大型トラックが突っ込んできて人命に関わる事故が起きたらそれは県が協力しないから市もやりませんという判断となってしまうことなのか疑問です。 つまり、市としてはこれだけ努力してきたがこれ以上はできないから松並青葉の皆さんご協力してください、という姿勢がまったく見えない。しっかり説明していただくことと、これから出る意見を受け止めて皆さんが移動してくれるような案を考えていただきたい。 試算が甘くて申し訳ない、という中で、受入れ上限まで移動する試算は本当に大丈夫なのか疑問。試算をしっかりとっていただきたい。 民間のコンサルが試算する話なのか、市の施策として人口増を緩やかにしていく話なのか。 施策レベルの話だと思うが、我々が勝手に増えたというような話になっているのはおかしい。	貴重な御意見ありがとうございます。 確かに、これまで、協力いただくという姿勢ではなかったこと、反省しております。大変申し訳ございません。 移動についてご検討をお願いします、というところが教育委員会の本音でございます。 上限枠で試算している点を甘いというご意見はごもっともと思いますが、実際に何人が移動できるか数の把握ができないと試算できません。 ここでは、教育委員会の理想の数字で出させていただきます。
理想の数字を出すためにアンケートがあるのではない。アンケートの対象者を該当保護者ではなく、町内全体で行ったことによって、本来対象者だけで行っていれば、移動人数が割合から出せていたはず。アンケート目的がわからないが、フuzzyな感じで取ってしまったから、試算もできないってことになっている。 これで我々を協力したことによって、本当に市が良くなるのか、我々も判断できない。 拙速に再来年度から4月から行うという納得いくプロセスにならないのではないかと危惧している。 時間が短い中でできるのであれば、是非御努力いただきたい。	前回のアンケートでは、お子さんのお持ちではない方も含めてですが、約3割が賛成しており、3割まで移動した場合の数値も出しております。しかし、その場合は、黒内小児童数が1,300人台のまましばらく続くという見込みが出ておりますので、できるかぎり移動にご協力いただきたいと思います。
スクールバスでの選択をできる限りはしてほしいということか。	そのとおりです。

P21 の令和 7 の新 1 年生からの人数について、全員バスで移動した場合、1 台で足りるのか、増えたとき、1 台のバスでは管理できないのではないか。遅刻用ではなく、バスの台数を増やすつもりはないのか。	便数とは時間帯の回数であり、台数ではありません。人数が確定したら、人数に応じた台数を確保する予定です。 50 人程度であれば、大型バス 1 台になり、それ以上であれば 2 台となります。
便数を増やすことはないか。	朝は現時点では一便ということで考えております。 遅刻したときにどうするのかというご意見も多くいただいているので、我々も悩ましく考えております。 他の自治体を確認しておりまして、遅刻用のバスをだしているところがあれば、公共交通機関の利用を促しているところがあれば、保護者対応をお願いしているところもあります。皆さんのご意見を聞きながらどう対応すべきかを検討してまいりたいと思います。
帰りのバス時間が 14 時 50 分となっているが、掃除等の余裕をみた時間なのか。	そのとおりです。 対象が新一年生なので、一年生の時間割でしか出しておりませんが、例えば、中学年や高学年の方も移動していただけるのであれば、各学年によって下校時間は異なりますので、その時間に応じたバスを運行します。
対象者への再度アンケートは出さない予定ですかもう一度アンケートを取った方が人数の把握ができるのではないか。	実際の人数を把握するのは、令和 7 年度に黒内小学校に入学する全保護者向けに 4 月に通知を差し上げるタイミングとなります。7 月中旬までにスクールバスを利用するかどうか受付していきます。 そのほか、出口アンケートではないですが、今時点での移動について QR コードで回答をお願いいたします。今回の説明で移動してもよいか、ご協力をお願いします。
P13（アンケート結果） 賛成が高いが、周りをみていると自分の子供が対象外だから、新一年生から移動してくれればいいという家庭が多いのではないかと感じている。 今回のアンケートの QR コードについて、実際にバスを利用する対象なのか。	お子様の年齢を選ぶ項目がございますので、そこで絞り込んで人数を出すようにしております。
17.6%は積極的に移動したいという方だと思うので、令和 6 年度の移動をもっとサポートすべき。 そうすることで、黒内小学校の全体の混雑緩和に繋がると思う。まったくサポートしないことについて、ご検討いただけたらありがたい。 今の学年の人たちに希望を取るべきで、令和 7 年度の一年生にだけ負担を押し付けるのはよろしくないのではないか	ご意見ありがとうございます。
推計値について、振れ幅をもって提示するのがよい。 あまい場合、普通、厳しい場合の 3 パターンで、あく	ご意見ありがとうございます。

までも推定値であることを認識してもらう。	
P5（児童数・学級数推移と予測） 令和９年度に児童数の R1 推計値と実績値（R4 推計値）がほとんど変わらないのに、教室数の実績値（R4 推計値）だけ増えているのが不思議なのだが、１クラスの人数を減らしているのか。	令和元年度に行った推計では、令和元年度以前の、普通教室数と特別支援教室数の内訳割合実績で学級数を算出していました。しかし、その割合が、令和３年度から令和４年度で大きく変わり、その傾向は令和５年度についても続いています。このため、児童数としては微減していくが、教室数は増えるという結果になっています。
３０年前にも同じことを繰り返していると思いますが、推定とかはその当時のことが全く生かされなかったのか。３０年前にも同じように、松前台小が増えたときに、キャパオーバーして途中で児童が移動したということがあった。その経験がなぜ生かされなかったのか。当時の当事者ですが、その時は、松前台と薬師台が松前台小に通っていて、薬師台地区の生徒が１年生から６年生まで全部まとめて別の学校に行かされて、私はそのとき６年生だったが、市の都合で最後の１学年だけ別の学校に行かされて、すごく不快な思いをした。こういった思いは子供の世代にはさせたくない。 学校数が足りなかったり、開発した時期に児童数増えたりすることはわかっていたはずで、記録にも残さず、同じことを続けているのが、正直疑問である。コンサルにださなくても、このくらいの計算出せると思うのですけど。 そもそも児童数増加に対する方針を確認したのが平成２３年度で、５年後の平成２７年度に増設している。（新設は）計画に５年位かかるというのなら、この時点のこの考えを持たなかったか。この時点で新設を考えていたら可能だったと考える。	過去の経緯を把握しておらず、誠に申し訳ありませんでした。 今回のことに関しても、教育委員会の推計が甘かったことが原因のため、民間のコンサルに頼んでしっかりと検証をさせていただきたいと思います。 そもそも黒内小学校は、ＴＸ開業前の平成１５年の頃は一学級しかないような学校であったため、松並青葉の開発が始まり、区画整理地内に学校用地を作るか作らないか議論がされたとき、近くに教室数に余裕のある黒内小学校があり、徒歩圏であるとなると、新設ではなく黒内小学区として増築対応方針とすることを選んだのだと考えております。 また、過去の記録からは、近隣のひがし野地区の推移を参考に児童数がどれだけになるかを検討したことが伺え、学校新設ではなく増築の方針で今まで来てしまった状況となっています。
先ほども出たが、歩道橋が県でできないのであれば、元々北園交差点で渋滞がすごいので、立体交差にすれば、安全な通学路を作るのは可能ではないのか。	例えばスクランブル交差点ですと、警察、龍ヶ崎工務所と協議はさせていただいたのですが、立体交差するにあたっては、周りの歩道や待機所のスペースが狭すぎるため実現が難しいという結論となった経緯があります。
御所ヶ丘小のバスのルートで北園交差点を通ることになると思うが、朝の時間で安定していくことは不可能だと思う。 どういう試算されているのか。 北側の道も細くなっており、時間がかかる気がする。	距離で単純に計算している状況です。北園交差点が混雑する想定はしていますので、北園交差点を使わないルートも含め、どこなら確実に通れるかを検討していきます。
黒内小学級崩壊が起きているのはどのように考えて	把握していなかったのですが、具体的にはどのようなこ

いるか。みなさんどういのお考えをお持ちなのか。移動するのに物を持っていかないとだめだとか。児童が多いから起きていることなのか、教員が足りないからなのか。その把握をしてほしい。	とが起きているのか、黒内小に確認します。
バスの申込状況はわかるのだろうか。自分はこの学校を選んだが、近所の方がほとんど別だった場合、近所の方の状況がわからない。	個人の状況は出せないが、地区ごとの申込状況の公開はできるのではないかと考えます。検討いたします。
スクールバスの申込をし、決定された後に取消（キャンセル）は可能か。	取消し可能です。
近所の友達と学校がバラバラになってしまうと、近所の公園に一緒に行きにくくなる。近所の子どもたちとの交流は検討しているか。	検討していません。変更先の子どもたちとの交流については検討していますが、松並青葉の近所の方との交流は検討していませんでした。今後検討します。
公立小のメリットは同じ地区の子と同じ学校に行けることだと思う。 選択制でバラバラになることで同じ地区に知らない子がたくさんいるのはかわいそう。 郷州小と御所ヶ丘小のどちらかに偏らせて、なるべくバラバラにしない方が良いと思う。	ご意見ありがとうございます。
前の案はなくなり、選択制になったのか。 親からしたら選択制が良いのだろうが、子ども的にはみんなと一緒に行ってくれ、の方が良い。	現時点で、選択制を望む声が多かったため、選択制に変更しました。 意見が2つに分かれてしまい、教育委員会が学校を指定するのは不公平だということで、今回は選択制としています。 大規模校でも良いと判断される方もいるし、小規模校が良いと考える方もいるという中、これからの時代は、学校の通学区域というものは、教育委員会ではなく保護者の皆様に決めてもらうべきという市長の考えもあり、結果的に皆様を迷わせる形となり申し訳ありませんが、ご理解をお願いします。
4月13日説明会は、その日予定があるのだが日程は決定か？	現時点では決定です。 1日に午前と午後1回ずつ実施する予定です。
学校説明会は、9校が1か所に集まって実施し、見学会は各学校でそれぞれの日程で実施ということか	おっしゃるとおりです。
（意見） 中学で自転車通学は遠い。雨の日もあるし、歩いていくこともできないので、スクールバスの運行を検討してほしい。	貴重な御意見ありがとうございます。
（意見） 不安な気持ちで動向を見守っていたが、抽選になったことにがっかりした。 色々な人の気持ちに寄り添うとなると選択制になるのかなと、大人都合な気がする。	貴重な御意見ありがとうございます。

そんな中、子どもにも黒内小の実情を説明し変更するということになったとしても、抽選で外れてしまうと、納得いかないと思う。 せめて、第1希望、第2希望を聞いてほしい。 転校まで考えているのに、行けないとなるのは考えられない。	
放課後子ども教室、黒内がコロナでやってなかったと思うが、御所や郷州小はどうか。 利用者の見込みはどれくらいか。	他の学校もやっていません。令和6年度から再開予定です。現在は方針が決まっただけですので、見込み数はこれから把握していきます。
帰りの便数。 19時だと帰宅が19時半。遅い バス代が変わらないのであれば18時の台も作ってピストンしてもらえたらありがたい。	下校時の便数と登校時の便数については今後検討します。
人数が多い故の不自由さがあり、来年度からの転校を積極的に考えている。 令和6年度にバスが出ない。予算的には難しいだろうが、少しでも早くバスを出していただければ、令和6年度からの移動者も増えて、現在の黒内小の状況を改善できるのではないかと思います。 早期の移動者が増えれば、移動先の学校の情報も周りの人に共有ができるメリットも感じる。 そこで、スクールバスの帰宅便が16時40分と19時では間が空きすぎてしまうためその間のスクールバスの帰宅便を出していただきたい。	再三要望もあるため、帰宅便の増便は検討します。
（意見）放課後子ども教室に馴染みがない人が多いのではないかと思います。 就労証明書がなくても、短い時間であれば預けられる制度があることを情報発信していくべきだと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。
今の在校生が（令和6年度から）転校したい場合のケアとして、体操服などの備品の補填等は考えているか？ 以前、問い合わせた際に、本日の説明会でケアについても説明するということだったので、本日変更するかどうかを決めようとしたが、この情報だと決め切れない。 令和6年度の移動を決めるためには3月中に申請を出さなければならないため、数日中に決めていただきたい。	持ち帰り検討します。
小学校を変更したが、中学校はやっぱり守谷中に戻りたいとなった場合、全員入れるのか？ 校庭が狭いから部活は分けて実施とか制限がかかる	現時点では問題ないと考えています。 推計業務を継続し、必要であればプール跡地に校舎を増設することも検討します。

ものなのか。	
スクールバスについて、他市町村では有料というところもあるみたいだが、料金は無料か。それは、利用者が1人でも無料か。	無料です。
中学で自転車通学になると、北園交差点の混雑につながるのではないかな。	通学路は、学校と保護者と協議して安全なルートを検討していきます。必ずしも北園交差点を通るルートが通学路となるわけではないと考えます。
P 2 6 松並青葉の商業施設にバス停を設けるという話だが、1か所しかバス停を設けないのか？ 松並青葉の端に住んでいて、商業施設まで遠いため、モコバスの停留所も稼働しつつ商業施設のバス停も考えていただきたい。	検討します。
P 2 9 スクールバス、「※自家用車・・・」どういう意味か？車をもっていたらダメなのか。	自家用車をお持ちでもお持ちでなくても、必要があれば利用は可能です。
帰り2便は少ない。	検討します。
児童クラブは空き教室を使っているということだが、駅の近くや松並青葉の地区のどこかに代替施設を用意するということは検討していないか。 家の近くにあったら、時間的にも融通が利くため迎えに行きやすい。	児童クラブは学校の近くに設置するという方針があったため、検討していませんでしたが、担当部署と相談して検討します。
きょうだいで上の子と下の子で他の学校に通うことになった場合、学校行事を被らないように対策をしてもらえるか。	学校行事は、学校長判断で学校ごとに決めていることです。校長会に伝えて配慮してもらうよう伝えます。
P 2 1 スクールバスについて、人数に応じてバス台数を手配するということだが、令和10年度に約600人、令和15年度に約700人となり、バス台数が14台とかになる計算だが、現実的に運行できるものなのか。 曖昧だと、スクールバス導入案も破綻してしまう。	バス台数を確保した上、集合時間をずらしたり、近隣の商業施設に協力をもらったりして対応する予定です。
守谷SA新設により、新たな区画整理の予定や人口流入については考慮した推計となっているか。	守谷SA付近での住宅の区画整理は予定していません。現在計画として挙げられているのは、新守谷駅周辺の区画整理の予定です。
現在の学校の配置について、本当に適切かどうかというのが不安で、学校の新設や廃校等の検討をしていくべきだと考える。	来年度以降、通学区域審議会では、中長期的な市内全域の学校配置等を検討していく予定です。
今回の変更案については、ポジティブに捉えている。そうじゃないと子どももポジティブに捉えられない。そんな中で、郷州小と御所ヶ丘小の情報が少な過ぎるので、学校を選べない。	早めに市HPに掲載します。

親も子どもに説明ができないため、市に協力できない。 アンケート回答（3/4）までに黒内小を含めた学校情報がほしい。 さらに子どもが見て視覚的にわかるものを作ってほしい。	
御所ヶ丘小や郷州小への希望者が多い場合抽選になるかもしれない、また、在校生にきょうだいがいる場合は優先されるかもしれないということになると、きょうだいがいない一人っ子の家庭にしわ寄せがいくかもしれないということについてどうお考えか。	受入れ校の大規模校化を防ぐため、受入人数の目安は必要と考えています。それほど多くはない人数の上振れということであれば、枠にとらわれず臨機応変に対応したいと考えています。
P 2 8（安全対策） スクールバスの置き去り防止策について、子どもがバス停に行ったが既にバスが出発していて乗れなかった場合、どのような対応になるか。	置き去り防止策とは、車内に取り残されてしまった児童をなくすために講じられる防止策です。 各バス停で乗り降りする児童名簿等を作成し、運転手もしくは添乗員、学校と保護者へのメール配信という形で安全が確認できるように検討します。
スクールバスについて、普段はバスを利用するが、家庭の事情でバスを利用しない日があってもよいか。	事前に連絡をもらえれば対応可能です。
（意見） 迷っている中には賛成に偏っている人もいる。 例えば、郷州小を増築して、全員寄せるという案はどうか。一度検討してもらわないと、踏ん切りがつかず、考えを前に進めない。	貴重な御意見ありがとうございます。
（意見） 守谷駅前に児童クラブを作って、学校が終わったらスクールバスの帰宅便の便数を減らして、みんな児童クラブ等に連れてきて、遊んでもらい、好きな時間に歩いて帰れるよ、となった方がみんなのためなのかなと思う。 自分自身が 80～90 人規模の学校で育ってきたため、40～50 人規模の学校だと本当に気の合う友達と出会えるのか、親として心配。	貴重な御意見ありがとうございます。

Q	A
人口が増えている中でも私立に行かずに、黒内を選んだということは良い教育が受けられるという裏付けなのだと思う。そのような教育環境を整備していただき感謝する。 1月の通学区域審議会では、スクールバスは2丁目、3丁目、4丁目対象だったと思うが、今回の案で対象が全地区になった理由は？	地区で就学する学校が決まるのは不公平ではないかという意見や、1丁目も就学校変更したいという意見もかなり多かった為、全地区で制度実施という方向性に変更となりました。
抽選ということで平等となる部分もあると思うが、近所の友達と離れ離れになるなど公正公平の部分についてはどう考えるか？	抽選となることで近くの友達と離れ離れになることがあるかもしれませんが、希望者数が事前に把握できないため、抽選を行う前提としています。ただし、意向調査アンケート等で、ある程度の人数を把握し、抽選とするか、希望者全員を移動してもらうかの検討はできると思います。 学校の受入れ人数は、例えば2年生以上は2学級で、1年生だけ5学級と大きな差があると、学校運営が難しくなると聞いているため、全学年が平均して2～3学級となるような形で設定しています。
2～4丁目で希望調査をし、希望者が少ない場合に、1丁目も含める形が良いと思う。	貴重な御意見ありがとうございます。
意向調査アンケートに「知りたいことがあればご記入ください」とあるが、そこに書けば回答をもらえるのか？	回答の内容をホームページで公開していきます。
きょうだい2人（R7、R10 入学）いる。 抽選について、きょうだいの考慮はあるのか？	きょうだいがいる場合は、同じ学校に通えるよう対応したいと考えております
小1と4歳の子どもがいる。 審議会が5回あったことも知らなかった。 この説明会は「案」とあるが、今回の説明会で出た意見はどれくらい反映されるものなのか？	想定していない意見も多くいただいているので、整理し、反映できるものは反映させますが、方向性を大幅に変更することは難しいです。この変更案がベースとなることをご理解ください。
黒内小を減らしていくという説明だが、今通っている子たちの環境についてどう考えているか？	休み時間が思うように遊べていないという課題に対し、低学年が近隣の公園を授業や休み時間に使えるよう検討しております。 理科室や図工室などの特別教室を確保するため、校庭面積に影響の出ない敷地内に、プレハブ校舎の建設を検討しております。
すでに入学している子と、これから入学する子の2人いるが、すでに入学している子はお友達ができていますが、これから入学する子は近所のお友達と同じ学校に行けるものだと思っていたが、そうはならないかもしれない。 同じコミュニティで育ってきた子と一緒に学校にい	貴重な御意見ありがとうございます。

けないかもしれないという不安があることを伝えさせてもらう。	
新設校は5年程度かかるので難しいとのことだが、P4のデータを確認するとR1の推計値で、R6～13にかけて保有教室ぎりぎりの数値となっているが、この推計値が間違っていた場合、教室が足りなくなることが容易に考えられたはずなのに、なぜR1から新設校の検討をしていなかったのか。また、推計が変わった場合の想定をしていなかったのか。	R1が児童数のピークでその後は急激に減るという推計だったため、学校の新設という考えには及びませんでした。また、推計値も大きく変わることはない想定していましたが、結果的に特別支援教室数の伸び率が読めず、増築後に特別支援教室が想定外に増えてしまいました。
5つあった案が、全体が選択制という1つの案に変わった。この案で小学校の問題は解決できるのかもしれないが、松並青葉全員が守谷中を進学先として希望したとしても、守谷中学校がいっぱいのため、やっぱり移動してくれ、とはならないという考えでよろしいか？	黒内小の児童が守谷中に通っても受け入れ可能という推計で、令和4年度に増築を行っております。しかし、推計は上振れ、下振れの可能性があるので、移動された子どもたちの進学先について複数回、意向確認して守谷中の入学人数見込みを把握しながら、必要に応じて増築も検討していきます。増築の場所は、校庭をつぶさないように、プール跡地を検討しております。
学校の新設は5年かかるとあったが、増築はどのくらい年数がかかるものなのか？	約2年あれば建てるのが可能です。
商業施設と交渉中とあるが、結果はいつわかるのか？	すでに1つの商業施設から、地域の皆さんのためということであればと、前向きな回答をいただいております。詳細は今後つめていく予定です。
P29（バスの便数） 放課後子ども教室、児童クラブ2便あるが、どちらを利用するかなどは融通がきくのか？	事前に帰宅時間の連絡をいただければ対応可能です
R4年度の統計データについて、どれほどの自信があるのかその根拠を教えて欲しい。一回間違っていることはしょうがないが、どの初期値をとって統計しているかで結果は変わってくる。	今回の推計は、住民基本台帳の行政区別の人口を初期値として設定しています。 また、地区別の年齢別推計も行い、子どもを産む女性の比率、出生率、自然増なども数値に反映させています。
ここ5年くらい人口は増えている。守谷市全体としては増えていきたいのか。増える場所はどこなのか、守谷駅周辺が中心で増えていくのだろう。 黒内の課題は解決せずにこれからも残っていくのだろうと危惧している。 スクールバスの時限的な対策は、これ以上増えないという前提での議論だろう。	守谷駅周辺で大規模開発が行える敷地がなく、また、人の流入で急激に増えていくことは見通しが難しいと考えています。
西友前の建設中のマンションは推計で加味しているか。	今回の推計には、西友前のマンションも加味しています。
松並青葉が移動して空いた分、他の子どもが入ってくるのではないかと心配している。解決策ではなく応急	学校の新設は、検討計画から5年程度かかり、松並青葉地区の児童数ピークに間に合わず、かつ、その後の

措置に感じる。抜本的な対策をしなければならないため、学校の新設はとても有効な手段だと思う	児童数減少が確実で、多大な費用が掛かるために、困難と考えております。
就学校変更の希望は、一旦決めた学校を次年度に変更することは可能か。	可能です。
地域の方と一緒に小学校に行き、地域で育てていくという思いがあったが、そうならないかもしれないという不安がある。 選択制になったことで、黒内の人数が確定せず、根本的な解決にはならないのではないか。 駅前のマンションの建設により、人口が増え、今度は守谷小がいっぱいになるため、やはり新設校が必要なのではないかと考える。	御意見のとおり、選択制になることで、黒内小学校の児童数減少分は確定しない可能性があるため、できる限りご協力いただけるように学校の情報を発信していきます。 賛成・反対が半々であり、最終的に選択制で落ち着いてしまいましたが、ご心配をおかけして申し訳ございません。しばらく実施することで傾向を確認し、固定化（地域ごとで学校を決めていく）していくことも可能ではないかと考えております。 守谷小は現在減少傾向となっておりますが、駅前の開発状況が読めないこともあり、その分の受入れ先として考えていこうと、今回のスクールバス通学先から外した経緯があります。
北園交差点の安全性だが、歩道橋設置の対応はあるか。	交差点での安全対策、歩道橋については、（道路管理者である）県から、朝夕しか使わないところには設置できないと回答をいただいております。 迂回ルートで安全な通学路に変更することも考えられるため、学校や地域と相談しながら決めていきたいと考えております。
添乗員の配置について、どのような資格をもった方を配置する予定か。	添乗員について、添乗員付きスクールバス運行実績のあるバス会社と協議しているため、資格等についても確認して配置について検討していきます。
親がバス停まで行って、バスが来るまで待たなければいけないのか。	親が子どもを送り出すタイミングは、専用アプリを導入し、バスが来るタイミングが分かるようにすることも検討しております。しかし、協力いただけるなら、保護者がバス停までついてきていただけると助かります。
黒内で、全学年でのイベントができないとあるが、松ヶ丘小も運動会は2部制だったと聞いた。運動会2部制は守谷市全体の話ではないか。全学年でやるイベントが、守谷市全体でどうなっていくのか計画があったら教えてほしい。	学校行事は、学校長の判断になります。黒内小に関しては、グラウンドが狭いため2部制で実施しています。全国的な流れとしては、学校全体で午前中のみ開催が多い傾向です。 市全体での方針というものはありません。
郷州小と御所小に行ってもらいたいという思いが強く感じた。黒内のいいところも出していただき、平等に検討できるように発信していただきたい。	そのようにいたします。
スクールバスについて、下校時にそもそもバスに乗っていなかったり、乗り過ごしてしまった時の対	現在でも下校時には、担任の先生が帰宅グループ、学童グループ、放課後こども教室グループという形でグ

応について伺いたい。	ループ分けをし、学童の先生等に引き渡しまでしているため、同様にバスに乗る児童を明確にグループ分けして誘導することを考えています。
自力で登下校できないときに、公共交通機関で松並青葉エリアと小学校エリアを結ぶことができないか検討していただきたい。	みずき野まではモコバスルートがあるので、改めて検討したいと考えております。 他の地域ではモコバスで通学している児童もおります。
ホームページへのアップについて、各校のネガティブな面も載せてほしい。 また、育ちがこの辺ではないので、正解がわからない中で選ぶことになる。選んだ末に、希望して抽選落ちは受け入れがたい。 抽選前にもうワンクッション「現在こんな感じなのでご検討ください」のような連絡がもらえるとありがたい。	抽選前に、申し込み状況をお知らせすることができると、検討していきます。
地域内で学校がバラバラだと地域のつながりが薄くなり、防犯やトラブルを止められないかもしれない。 また、子どもたちの放課後の遊び場として児童クラブに入っていない子どもたちが孤立してしまうのではないかと不安。 遊び場として、児童館のような施設の設置を考えていただければ横のつながりももどってくるのではないかと。	駅東側への遊び場についての要望は、たくさんもらっており、そのような場が必要であることは認識しています。 現在、のびのび子育て課が担当課として、検討しているところです。
黒内小の教育体制に不安を覚えているので他の学校に通わせたいという思いがある。差が付きやすい理数系についても児童数が多すぎて先生がフォローしきれないことになるかと不安。 しかし、子どもに聞くと友達と別になるのはいやだと言われ、親が勝手に選択できないのでこのまま黒内小だと思っている。 せめてプールは1年に1回は行かせたい。	黒内小の現状を支援できるよう、検討していきます。 プールについては、令和6年度から全校、全学年で実施するよう調整しています。 なお、小学校1、2年は民間事業者に委託し、効率的に泳力をつけていきたいと考えています。
スクールバスについて、バス停が郷州も御所小も同じ場所のため、乗り間違えた際どうなるのか。 また、乗り間違えた場合に、保護者2人が出社し、対応できない場合はどうなるのか。 あらゆる「もしも」を想定してほしい。	乗り間違えについて、もし発生した場合は、保護者や学校、教育委員会に通知されるシステムも検討しています。保護者が対応できない場合は学校や教育委員会で対応することとなると考えています。
帰り1便の想定だが、中学年や高学年になった際に便数は増えるのか。	学年ごとの時間割に応じた帰りの増便は、検討いたします。
受入れ側の御所ヶ丘小、郷州小の学校設備についての質問。黒内小は休み時間にトイレが混雑し、トイレに行けずに膀胱炎等になり、体調を崩す子もいるという話を聞く。受入れ側の設備面は大丈夫か。	両校とも、元々はもっと児童数が多い学校であるため、児童数が増えても設備面で問題はありません。

人数超過の場合抽選とあるが、きょうだいは優遇されるのか。	調整いたします。
黒内小の迂回ルートの検討とあるが、すでに検討しているルートがあるなら教えてほしい。	国道 294 号線を安全に渡る案として、守谷駅のベデストリアンデッキを通るルートを考えているが、まだ決定ではありません。
子どもに携帯を持たせることはできるか。	現在も持ってくる児童もおります。その場合は、朝、登校したら先生に預け、帰りに返す形です。
バスが出るのはこの 2 校だが、それ以外も選択できるということか	御所ケ丘小と郷州小以外の学校も選択できますが、スクールバスは運行しないため、保護者責任による送迎などとなります。
放課後子ども教室と児童クラブの違いは	放課後子ども教室は、どなたでも利用でき、放課後に、教室や校庭で遊べるというもので、月 2 ～ 3 0 0 0 円かかるところ、市が負担することを検討しています。児童クラブは、保護者が就労していることが条件です。土曜日にも利用可能で、放課後子ども教室とは費用も異なります。
P 2 3（変更先小学校データ） 御所ケ丘小と郷州小の新 1 年生受入人数見込みとあるが、R 1 2 では最大 1 0 0 人超えている。行き帰りのスクールバスは、増便となるのか？ 児童クラブは通っている基本的に学区の児童クラブに入所することになると思うが、駅近の民間の児童クラブに通えるようにしてほしい。	増便します。 児童クラブについて、可能かどうか、担当部署に相談し、検討いたします。
教育委員会が考える、小学校の適正人数はどれくらいなのか。 R 25 まで黒内小 1 0 0 0 人規模だが、教室が足りるから大丈夫という話ではないと思う。 そのため、学校の新設は有効な手段だと思う。	令和 6 年度以降、小中学校の適正規模・適正配置方針を定める予定です。 国の基準では、適正規模は 1 2 ～ 1 8 学級、大規模は 3 0 学級までとなっていますが、この基準は、地域性を考慮して自治体で判断してよいことになっているため、しっかり審議していきます。 黒内小学校については、校庭面積から考えると、7 0 0 ～ 8 0 0 人が適正であるため、なるべくそこに近づけられるよう、皆様のご協力をお願いいたします。
PTA 活動を通して、黒内小の現状を見ているが、トイレの行列もすごかったり、プール授業も PTA も入水したりして、安全を見守っている。 また、北園交差点の歩道橋が難しいというが、車がつっこんだらどうなるのかという不安もある。 そんな中、地区ごとに学区変えの案が元々あり、それは賛成だったが、この話がなくなった背景にはいろいろな意見があつてのことだろうが、地区ごとに学区を変える案は本当になくなってしまったのか。	地区で線引きして学校を決められるのであれば、人数も把握しやすく、学校運営もやりやすいのですが、今回色々な御意見をお持ちの方がいる中、子どもたちの友人関係なども配慮すると、教育委員会が提案した方法はしっかりと段階を踏んで進めていく内容でした。今回は時間的余裕がなかったため、選択制という方針を取らせていただきました。 御所ケ丘小も郷州小も教育水準は黒内小と変わらず、9 校が同じ環境で教育を受けられることが守谷の特徴です。実際に御所ケ丘小や郷州小を見ていただいて

	判断していただければありがたいです。
先生方も疲れている様子なので、在校生の移動がないことを考えると、在校生へのフォローを引き続き検討し、行動に移してほしい。	貴重な御意見ありがとうございます。
保育園では労働条件や家庭環境などが加味されるが、抽選はどのように行うのか。	きょうだい在校生に在籍している場合を抽選対象外として通えるように対応していきます。 他自治体の抽選方法では、申込順に番号をふり、その番号を基に公開抽選すると方式が多いため、抽選をするならその方法で検討しています。 ただし、抽選という手段自体どうなのかという意見もいただいているので、その点も踏まえて方法について検討します。
3校の中から選択することが、ややこしくさせているのではないかと。 地域ごとに学校を指定してもらったほうがわかりやすく、選択制にするから教育委員会も見通しが立てられないのではないかと。	当初お示ししていた案には、賛成・反対、いろいろなご意見をいただきましたので、その内容を基に審議会で検討した結果となっています。 前回までは、地区で学校を指定することも考えていましたが、反対意見がある中での強行は難しく、今回は選択制としました。 大規模校でも良いと判断される方もいるし、小規模校が良いと考える方もいるという中、これからの時代、学校の通学区域というものは、教育委員会ではなく保護者の皆様に決めてもらうべきという市長の考えもあり、結果的に皆様を迷わせる形となり申し訳ありませんが、ご理解をお願いします。
黒内小を選択することもできるのか。	黒内小も選択可能です。
R2から800人を超えている。選択制を入れても黒内小が多かった場合の対策は？	校庭をつぶさない形でプレハブを設置し、余裕教室で対応することを検討しています。
新校舎は作らないのか。守谷小学校を選択肢に加えて欲しいという意見があったが、今ある案だけなのか？ YES か NO で回答を。	新校舎を建てないのかというご意見に対しては、校庭がより狭くなってしまうことから困難と考えています。このため、校庭以外の敷地内に収まる大きさで、特別教室のプレハブ（仮設校舎）を検討しております。 守谷小学校は、今後、守谷駅周辺への人口転入に備えた受け皿として余力を残すため、スクールバスの通学先としては検討していません。ただし、徒歩圏で通学が可能な範囲での人数は受け入れられます。
朝の遅刻者への対策は。バスの中に添乗員とあるが、バス停にずっといて、乗ったか乗ってないか確認する人はつくのか？	現在、市でお願いして通学路に配置している通学補助員のような方をつけることができるか検討します。
他自治体事例を参考に計画を進めているのか。また、他自治体ではどのような問題があったか？ 問題があった話を聞くことで、漠然としている不安を解消してくれるのではないかと。	他自治体の事例は統廃合による事例が多く、守谷市と同じ状況によるスクールバスの参考事例はありません。 ただし、スクールバスを運行すること自体は変わるも

	のではないため、他自治体の運行例を参考にしています。自由選択制については他自治体でもある制度なので、情報収集しながら進めていきます。
学習支援ティーチャーが足りていないという声もあるが、実際は足りているのか？ また、学習支援ティーチャー配置以外のサポートは検討されているのか。	県の教員の他に市費の講師がいるので、他市に比べれば教職員の負担は軽減されております。 学習支援ティーチャーは市の条例に基づき配置しており、児童が増えれば配置人数も増やすことになります。その他のサポートは、学校と相談しながらどのようなサポートが効果的かを検証し進めていきます。
P21（対策案の対象学年について） R7の人数にきょうだい率が考慮されていると思うが、きょうだい率を考慮することで省かれた人数を知りたい。	きょうだい率を考慮しないとR7の1年生は約80人R8は約70人、R9約60人、そこから数年は約60人程度となっております。
北園交差点について、松並青葉地区の子どもが自転車で守谷中に通学する場合、より混雑することが想定されるが、ルートはどうなるか。	現在、松並青葉の子どもたちは駅のライオンズマンションの方までいき、「土塔」交差点の信号を渡って通っているため、混雑は回避できると想定しております。
放課後子ども教室はR6に再開とあるが、これは確実に再開か。	方針が決まったので、全学校で再開する予定です。
R7に黒内小に通わせたい場合、抽選になることもあるか。	黒内小は抽選になることはありません。
スクールバス帰り2便だが、その間に帰りたい場合は？	同様の意見をいただいているので、16時40分と19時の間の便も検討しています。
今回の意向調査アンケートについて、これを見て受入れ人数を確定するのか。 親2人が、それぞれで行うと数値が信用できない。	ここではまだ確定しません。 基礎資料として知りたいという程度のものです。
駅近くの児童クラブに預けられるようにバスを出してくれるのか	駅近くの児童クラブを使える場合は、バスを検討しますが、使えるかどうかは分かりません。児童クラブの担当部署と相談いたします。
習い事への送迎を黒内小までしてもらっているが、学校が変わった場合、新しい学校で送迎してくれる習い事について知りたいので、その案内窓口を設けていただけないか。車がなく、フルタイムで仕事をしているため送迎について不安。	民間の習いごとについては把握できておりません。
P23（変更先の御所ケ丘小と郷州小について） 下の表は、最大の受入人数ということか。 郷州小も御所ケ丘小も、もともと児童規模の大きい学校だったため、もっと受入れできないのか。 受入人数の根拠を教えて欲しい。	受入見込みの数値であります。 両校とも教室数に余裕はあるため、単純に大人数を受入れることは可能だが、例えば令和7年度に1年生だけが5クラス6クラスというように増えると、他の学年が1～2クラスのため不均衡となって学校運営が難しくなります。このため受入人数は、各学年学級数プラス1～2となるような定員で考えています。 しかし、申込状況によってはさらに1クラス増やすなど、検討していくことも考えられます。

御所ヶ丘小と郷州小が、英語とプログラミングに力を入れるという特徴を出しているが、差をつけることで問題を難しくしているため、黒内小と同じ教育を受けられるということを全面に出した方が良いと思う。	御意見ありがとうございます。
また、帰りのスクールバスは、18 時くらいに出してくれとありがたい。	同様の意見をいただいているので、16 時 40 分と 19 時の間の便も検討しています。
塾や習い事ができる事業者を誘致し、送迎等も含めて対応してくれるような対策も必要ではないか。 他にも様々なとても良い意見が出ていたが、結局予算がなくてできません。ということにならないように、予算が確保できるように対応していただきたい。	御意見ありがとうございます。
答申案の文言は、住民に責任があるように読み取れるような書き方にならないように細心の注意を払ってほしい。	答申文面は審議会で十分審議し、配慮した内容となるよう検討します。
7 月までにバス利用を検討しないといけませんが、4 月 13 日の説明会でまた説明してもらえるのか。	回答目安は、3 月 7 日の第 6 回通学区域審議会で答申。3 月中旬に教育委員会で議決したらすぐに HP で公開します。また、遅くとも 4 月 13 日の説明会で制度の説明をいたします。
スクールバスは、全員着座するようなバスなのか。 また 1 便で全人数運べるのか。	全員が座って前を向けるように想定しております。 1 便とあるが、1 台というわけではなく。人数に応じて台数を増やします。
R 7 の 1 年生から始める意味はなにか。	R 7 年度で教室が不足する可能性があるためです。
地域のコミュニティがバラバラになることが前もってわかっていたのであれば私立学校を検討した人もいるだろう。 1 年前なので混乱している。	混乱を招いてしまい申し訳ありません。
塾などが充実していて松並青葉を選んだ人もいるだろうが、民間ではなく公的な児童クラブを松並青葉もしくは駅近くにつくれないか。親の都合で迎えに行ける。	民設民営の児童クラブが駅近くにできます。 黒内以外の子も行けないか、担当部署に相談いたします。
通学区域審議会はこれからも続くのか。	通学区域審議会は継続していきます。
通学区域審議会のメンバーについて、松並青葉の住民がいらないのが疑問。案を見ていて、住民の意見が届いているのか不安だった。松並青葉それぞれの地区からメンバーに入れていただきたい。	松並青葉地区からは、守谷 B 地区まちづくり協議会から選出された方に委員をお願いしておりました。 また、これまで、市の情報発信が足りていなかったことを反省しており、今後、情報を地域にお知らせできるような形を考えていきます。

Q	A
他校ではできていて、黒内小ではできていないことの具体例を教えてください。	人数が多いことによる児童への影響は次のようなことがあります。 ①人数が多いため、空き教室がない。 ②他校では、休み時間は制限なく一斉に外で遊べるが、黒内小では3つのグループに分けて時間差で休み時間をとっている。 ③朝顔を一人一鉢置くスペースがないため、黒内小ではグループで1鉢となっている。
クラブ活動への影響はあるのか。人数が多すぎてできない活動はあるか。	体育館・グラウンドを使うクラブは、ローテーションになっています。また、雨天時などは、他の学校より体育館が使えないことが多い状況です。
アンケート結果が、1年生以上なら賛成が割合的には半分以上いる。このアンケート結果を受け、どのような提案をしているのか。 来年1年生の子たちから自由に学校を選択できるという制度なのか、在生学生も含めて希望する人は違う学校に行って良いということなのかわからない。	今回の案は、原則令和7年4月に1年生となる児童が対象となっています。原則1年生にした理由は、在校生を動かすのは子どもたちにとって酷だという意見を多くいただいたためです。 しかし、在校生の方で、黒内小の現状に不安を感じている方もいるので、希望すれば在校生でも移動することはできます。
北園交差点が危ないと言っているが、市は優先順位を高く上げて問題解決に取り組もうとしているのか。新守谷のように立体交差化するなど、いろいろなことを踏まえて安全対策を検討するべきだと思う。 話を聞いていると、通学ルートで子どもたちを遠回りにし、子どもたちに苦勞させれば安全なのではないかと聞こえる。市として安全対策をするのであれば、踏切改良も含めて全部綺麗に通学路を整備すれば良いのではないか。	過去には、県に歩道橋の要望をしましたが、県では、朝夕は児童の利用が多くても、日中の利用が少ない状況であると建設は難しいということで実現していません。 このため、通学補助員の配置や歩道の拡幅等での対応をしてきましたが、これ以上人数が増えると安全の担保が難しくなってくるため、迂回ルート等を検討していきたいと考えています。
時限的に児童数が減るとわかっているのであれば、中学校もスクールバスを出していいのではないか。	中学校の通学距離の目安は6km以内となっています。松並青葉地区からはどの中学校も5km圏内ですので、現時点ではスクールバスによる通学は考えていません。 ただし、通学路が危ないので考えてほしいというご意見は多いため、安全ルートの確認や危険箇所の整備について、学校、地域、道路管理担当部署等と協議して検討していきます。

距離が遠くても安全な道の確保や街灯が多い、変質者が出ないなど、いろいろな状況が整えば聞いている人たちも変わってくると思うので、引き続き安全を考えていってほしい。	対応していきます。
アンケート結果において、581件の回答の属性を見ると、在校生の保護者が基本的に答えているが、令和7年に第1子が小学校に入学する保護者の意見も反映されているのか。	未就学児を含めたお子さんがいる世帯だけでの集計も行っていますが、ほぼ同じ結果となっています。 賛成（1年生）：32.6% 賛成（1～5年生）：17.4% 賛成（1・2年生）：8.7% 反対：33.6%
定員超過の場合は抽選とあるが、定員はどれくらいか。	定員は説明資料の23頁にある、受入人数見込みとなっていますが、これは現時点での想定人数であるため、もう少し増やしていけるように考えています。
R6年4月の時点で、7年度からのスクールバスを見越して学校選択を行い、保護者が送迎する場合、2年生（R7年）でスクールバス利用が抽選となるのは困る。R7年分からの抽選で漏れた場合、ずっと家庭で送迎となるのか。 上の子が先にスクールバスで通っている場合は、下の子は優先して抽選をしてもらえるのか。別の学校に通うことになる可能性はあるか。	きょうだいは同じ学校に通う方が良いと考えていますので、優先枠などを設定し、下の子も同じ学校に行けるようにしていきます。
帰りの便は1便とあるが、2年生に学年が上がった場合どうなるのか。 また、遠足等の学校行事にもバスは対応するのか。	資料では1年生のみの時間割しか記載していませんが、学年により時間割は異なるので、1年生以外の学年がいる場合は、その時間割に合わせて便数も増えることになります。 学校行事にも対応いたします。
きょうだいが既に通っている場合、下の子の学校選択について、定員内での「優先枠」と言うが、希望者が多い場合はきょうだいがいっても優先枠から漏れてしまうのではないかと不安である。きょうだいがいる場合は確保すると断言していただければスクールバス通学が十分選択肢になる。	下の子の通学については、確実に対応します。
変更後は、黒内小の現在の状況（朝顔、休み時間のグラウンド利用など）はどれくらい解消されるのか。	朝顔が一人一鉢になるための人数については、グループに一鉢の方が効率的で良いという判断になるかもしれませんが、明確には答えられません。 グラウンド利用については、800～900名であれば一斉に遊んでも問題はないと思いますが、

	人数が少なければ少ない程、安全は確保できることとなります。
抽選で漏れた場合は黒内小になるのか、他の小学校になるのか。	第一～第三希望まで受け付けることで、できる限り希望の学校に行けるよう調整することを考えています。
R6年に他の小学校へ行き家庭で送迎し、R7年からスクールバスを利用することも考えられるが、2年生になって定員超過でスクールバスに乗れないという心配がある。	今回お示ししている枠は1年生のみの枠であり、2年生以上の枠は別にあるので、確実にバスを利用できるように考えています。
雪や台風などの悪天候時にもスクールバスは運行するのか。	遅れて登校となる場合などが想定されますが、その際はスクールバスの時間も遅らせて対応していきます。
スクールバスを使うことで、悪天候時にそもそもの登校が難しくなることはあるか。	先日の雪くらいであればスクールバスを走らせることはできると考えています。警報級であれば、学校自体が休校となります。
商業施設の駐車場をバスの乗降場所に利用する場合、帰りの時間帯について商業施設利用者との兼ね合いは大丈夫か。 メールは見ないのでプッシュ通知が良い。	商業施設の駐車場は朝のみの利用で、帰りはモコバス停留所の利用を考えていますので、商業施設利用者への問題はないと思います。 また、停留所へのスクールバス到着時刻をメール配信できるようなシステムの導入を検討しています。
想定より黒内小を選ぶ人が多い場合のプランは考えているのか。学区そのものを強制的に他の学校に変えるという可能性はあるのか。	黒内小学校を選ぶ人が多い場合は、プレハブの規格を大きめにして、教室数を確保していくことを考えています。 しかし、この場合はグラウンドの密状態などは解決できないので、徒歩圏の通学区域の変更について、時間を掛けて協議していく必要があると考えています。
御所ヶ丘小と郷州小どちらに行ったら良いのかわからない。 子どもが楽しめるそれぞれの学校のイベントを教えてください。	御所ヶ丘小では、田植えや稲刈り、地域とのお祭りを行っています。郷州小はみずき野地区とのお祭りがあるようです。 また、2校ともアクティブラーニング室を整備し、御所ヶ丘小では英語の教室、郷州小ではプログラミングの教室として、子どもたちが自由に動き回って学習できるようになる予定です。 英語は本来小学3年生からだが、守谷市では文部科学省に特別な申請をし、全小学校で1、2年生

	から週1回英語を学習しています。このような状況なので、アクティブラーニング室で例えば姉妹都市とつながって学習することもできると思います。プログラミング教育では、企業コラボやロボットを活用し、ものごとを解決するときに筋道を立てて解決していく能力を育てる勉強をしています。 今週中に各学校の学校行事等を端的にまとめたものを市ホームページに載せていきます。
北園交差点の混雑について、歩道橋の設置は困難とのことだが、関鉄からレーベンのあたりまでの地下通路はできないか。 地下通路によって近くの商業施設に自転車で行きやすいなどのメリットもある。	地下通路は協議したことがなかったので、県と協議してみます。
スクールバスに乗り遅れた場合、保護者責任による送迎となるが、ガソリン代の補助はないか。	ガソリンの補助という形ではなく、モコバスがあるので時間を調整できるか担当部署と協議していきます。モコバスが使える場合は、無償で利用できるようにしたいと考えています。
「アクティブラーニングをやります」の一言では想像がつかない。各学校の特典や魅力をもっと具体的に提示してほしい。 学校行事の内容ややり方を知りたい。	今週中に各学校の学校行事等をまとめたものを市ホームページに載せていきます。
中学生になると、今の北園交差点の混雑が自転車で混雑することを考えると恐ろしいので、中学校をどうするのか、早い段階で見通しをたてて公表してほしい。	現在、守谷中学校の生徒は、北園交差点で渡らずに、守谷駅のライオンズマンション近くの信号で渡るようになっています。今後も通学路については安全性の協議を続けていきます。
中学校は本当に選べるのか。守谷中に行けるのか。行けると簡単に言っているのか。	令和4年度に増築工事を行っていますが、生徒数がそれよりも多くなるようであれば、プール跡地に増築する可能性も考えられます。 すぐには建てられないので、生徒数の推計をしっかり行って対応していきます。
愛宕中に通う場合、郵便局の前の細い道に行くのは危ない。松並青葉地区の生徒があそこを使うとなると、危ないので不安である。	郵便局前の通りは車道を走るようになっていて、教育委員会も危険と判断しています。通学ルートは、地域の皆様や学校と相談しながら、安全なルートを検討していきます。

来年度の就学校変更申立人数の見込みを知りたい。	令和6年度から開始する就学校変更の申立については、(判断材料となる)学校の情報を出せていなかったため、8名のみという状況です。
2年生以上もスクールバス通学が可能とあるが、受入人数の上限が少ないと思う。	資料でお示している受入れ人数上限は、1年生の枠のみであり、上級生は別に受入の枠があります。また、上限人数については、学校全体で各学年の学級数のバランスから設定しています。各学年で1～2クラス程度増やす想定の人数となっています。
黒内小にもスクールバスを出せば北園交差点は安全になるのではないかと。 歩道橋や地下通路は現実的ではなく危ない。	1番安全ではあるが、黒内小の児童数が多く、バスで交差点が混雑する可能性もあるため、難しいと思います。
選択制になったということで黒内小を選択した場合、プレハブ対応で確実に黒内小に入れるのか。 他の学校へ行く希望者が少ない場合、強制的に他の学校へ行くことはあるのか。	希望者が少ないことは避けたいので、できるだけご協力いただきたいと思います。 少なかった場合は、教室が足りなくならないようにプレハブ設置で対応していきます。
学校見学会では、親だけではなく、子ども相手に何かしていただけたら、子どもが見て自分で決めやすいし、親も後押ししやすい。	見学会は、子どもたちも来られるようなスケジュールで設定していきます。 学校が、子ども向けの説明に対応できるかどうかは学校次第のため、本日は回答できません。 また、子どもが見て学校生活のイメージがわくような、黒内小、守谷小、御所ヶ丘小、郷州小、松ヶ丘小の動画を製作しており、4月中に公開する予定です。
児童が多く先生の数に足りないだろうが、それにより児童一人一人に対して目が行き届かない、質問ができない、いじめやSOSに気付けない、トイレが足りない、という問題が出てくる。 施設の人的補充について今の段階で想定はしているのか。	児童数に応じた先生の手数は国で決まっています。また、県独自の加配制度があり、先生を基準より多く配置できています。さらに、守谷市は独自で学習支援ティーチャーと介護補助員を付けています。他にも、音楽、図工、理科は教科専科の先生を配置し、専門の先生が教えている状況で、できる限り目が行き届くようにしています。 いじめについては、些細なことでもいじめとして認知し、対応していますが、相談したくてもできないこともあると思いますので、一人1台のタブレットで、いつでも相談できるように対応しています。このほか、月1回のアンケートも実施して

	います。 トイレは、基準に基づいた数を設置しており、環境面はきれいに整えています。トイレが足りないということは聞いたことがありませんでしたので、学校に確認します。
そのような施策が十分に取られていても足りていない状況だと思っている。 プラスαの先生の人数は足りているのか不安である。	先生はいればいるほどありがたいというのが現場の本音です。教員の増員については、引き続き県に強く要望していきます。
地震が多いことが気になる。 大型地震が起きたときの避難先は黒内小だと思うが、通学先が変わった場合はどうなるか。 親と子がバラバラの避難所になりかねないが、対策はあるのか。	避難所は行政区で決まるため、どこの学校に通学したとしても避難先は黒内小になります。 在校中に災害が発生したケースに備え、引き渡し訓練や、バスで迎えに行くなど様々な方法を検討していきます。
大型地震発生など緊急時を考えた際、今の児童数は適切なのか。それを考えているのか。	地震が起きた場合は、机の下に隠れた後、落ち着いたら校庭に集まるという流れになっていますが、児童数が多いため、校庭の余裕はそれほどない状況です。
スクールバス1便1台だろうが、6年間通うことを期待する。6年間の間に対象者推計値が600人を超えるが、バス台数がかなり必要になると思うが、どのような見込みなのか。	人数に応じてバスを確保します。
学校説明会、見学会参加の対象は令和7年度入学生のみか。	令和7年度入学生が主な対象ではあるが、その他の未就学児の方も来ていただける方向で進めています。
小学校を決めるにあたり、中学の情報も必要である。各中学校の高校進学実績や部活動の情報も出してほしい。	まずは小学校の情報発信となりますが、中学の情報を発信する際には、部活動の情報なども開示していきます。
公立なのになぜ学校ごとに英語やプログラミングの特色を出すのか。	守谷では、どの学校でも同じ教育を受けられることは間違いありません。 アクティブラーニング室での英語やプログラミングは、プラスαの活動という位置づけで、学校行事や総合学習のように、学校独自の活動に該当します。
中学校へ通う際、雨の日などは危ない。モコバスの朝夕の便を増やしてモコバスで通えるようにしてほしい。 モコバスを利用すれば自転車利用者も減り、より	モコバスの要望は、ほかにもいただいている状況ですので、担当部署と協議して検討していきます。

安全に通学できると思う。	
スケジュールについて。3月中旬には案1か案2のどちらかに決まるのか。	令和7年度対策については、3つすべての案について、実施するかしないかというものであり、どれか1つのみになることはありません。
スクールバスの送迎に伴うリスクを検討していると思うが、それぞれのプロセスの中でどのようなリスクがあると想定しているか。そのリスクにどう対応するのか、分析過程を教えてください。 教えてもらえたらスクールバスで通学しても良いと確信がもてる。	次のようなリスクと対応策を考えています。 ・バス停留所でバスを待っている際に熱中症などのリスクがあるため、商業施設の駐車場を確保する。 ・乗り遅れを防ぐため、乗る児童リストを学校、添乗員、教育委員会で情報共有するとともに、点呼を行う。 ・バス車内置き去りを防ぐため、置き去り防止システムを確実に設置する。 ・児童のバス酔いや体調不良対策として、添乗員による目配りを行う。 ・帰りに間違えたバス停で降りないように添乗員が確認する。 ・学校で帰りのバスに乗るときの乗り間違いや忘れを防ぐため、学校と連携をとり、きちんと確認し対応する。 ・地震発生時などの対応として、防災対応マニュアルを決める。
学校選択の変更時期、回数は定めがあるのか。年度ごとか。例えば親の仕事の都合で学校を変更したい場合は年度の途中でも融通がきくのか。また、変更したものの、やっぱり他の学校に行きたい、ということも可能か。	就学校変更申立という制度がもともとありますので、今回の選択制度においても、選択した先の学校が子どもに合わない場合などには、就学校変更申立という形で対応できます。
年度途中で変更したい場合、入学時は抽選とのがだが、どうなるのか。	学校のクラスは、1クラス35人までという定めがあるため、年度当初の入学・通学先変更では、学級数を確定するために、事前に定員を設けていますが、年度途中の人数増でクラスが増えることはありません。このため、年度途中の変更希望は抽選なしで受入れることができますし、場合により36人学級ができる可能性もあります。

2月18日（日）13時30分～15時00分 守谷中央図書館視聴覚室

Q	A
中学校はスクールバスを使わない方針とのことだが、御所に行く場合、国道294号を横断することになり、北園交差点は危ない。そのへんは理解、検討しているか。	中学生の通学ルートにつきましては、通学路の安全対策には今後学校、地域、道路管理者と地域の皆様からのご意見等をいただき、協議し、安全な通学路を検討していきます。
アンケート結果において、ほかの地域の方々の意見で、（大規模校化が）松並青葉のせいだというような意見があり、居づらい環境に捉えられてしまう。心理的負担が大きく、どうにかしてもらいたい。地域での子どものつながりを大事にしていたが、他の地域に行かなければならない状況は、親子共々混乱している。 こういった情報は早めに開示してもらいたい。	ご不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありません。 黒内小学校の過大規模校化は、松並青葉地区に限ったことではなく、守谷駅周辺の他地区でも児童数が増えており、市の推計の甘さによる結果であり、本当に申し訳ありません。 また、皆様に今回の情報が届ききれていなかったことについても大いに反省しているところです。 今後はいろいろな手段を使って正しい情報が地域に届くよう務めてまいります。
スクールバスの添乗員は教職員で、その方に人数を把握していただけるのか。	現時点で添乗員は教職員とは考えておりません。 ただし、こどもたちの安全にかかわることなので、現在協議しているバス会社は添乗員も確保できるというお話を聞いているので、添乗員に求められる資質等を聞き取りながら、適切な人材を配置してまいります。
バス1便に間に合わない。10分間隔で一本出してほしい。 バスに間に合わない場合の保護者送迎のガソリン代の負担になることが疑問に残る。	朝の便については、どのようにすべきか検討中です。1番望まれる時間帯や朝の会に間に合うかなどを考慮して調整してまいります。 また、バス停留所に到着する何分前かにメールか何かでお知らせできるシステムの導入を検討しており、乗りこぼれがないような形で対応していきます。それでも遅れた場合は、郷州小だとモコバス（公共交通機関）がありますので、利用する場合は定期発行など、なにかしらの方法で検討してまいります。

スクールバス停留所の安全性について。 モコバスの停留所は利用者が少ないことから、横に逸れるところがなく、道路の路肩に停留している。かなりの人数が乗る場合、停留時間も長い。ロジスティックがあるので大きなトラックも通る。横断歩道までかなり歩く人も出てくる。 横断歩道の場所を増やす、子どもが安全に停留所まで行けるような動線の確保を検討してほしい。 停留所までの安全な動線確保を警察と連携して是非やっていただきたい。 放課後の友達との遊びが重要だと思う。放課後の2便をもう少し刻み、子どもも保護者も負担なく帰れるような環境を検討していただきたい	バス停までの安全対策については、学校と確認しながら進めてまいります。危険であれば、警察とも協議し、横断歩道の線を引くことを検討していきます。 バス停留所はどのように調整すれば良いか難しいところではありますが、商業施設を朝の停留所として使わせていただくことも検討しています。 帰りの便については、増便ができるかどうか検討していきます。
(意見) 市からの情報開示が少ないのはありえない。 今後がんばるとのことなので、どこで開示されるのかをきちんと教えてもらいたい。 案がコロコロ変わり混乱している。	貴重なご意見ありがとうございます。
今日提案した案というのは、松並青葉限定の話で、全員スクールバスを選べる、黒内も選べる、その他も選べるということか。	そのとおりです。 黒内小学校を含め、選べるということです。
北園交差点に歩道橋を建てることはないのか。 県にもう一度プッシュしていかないのか。 手遅れになるというのは、そもそも市の見通しが甘かった。私たちの生活に係わることなので考えて、補填等考えていただきたい。	歩道橋の件につきましては、県に要望していましたが、歩道橋の立地条件として朝夕のみの利用者だけでは設置が難しいとのことで、実現していない状況にあります。ただし県には、歩道の拡幅等に協力をしていただいたり、警察にも、歩行者が交差点を横断する時間を一番長い設定にしてもらったりしています。 市でも、通学補助員を複数人数配置し、マンパワーを駆使して対応している状況です。 新しい推計値も出ているので、もう一度県に要望してまいりたいと思っております。 できるかできないかもありますので、結論を待っているのは手遅れになりますので、代替案として何ができるか協議してまいります。
松並青葉に新しい小学校をつくることはないのか 人口が増えていくのは市として良いことだと思っ	現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つげられ、用地があった場合でも、用地取得から建設

ているので、減少していくことを前提に考えるのではなく、誘致するとか。流山おおたかの森などを参考に考えていただきたい。	まで5年程度かかります。また、学校を建てても今後は児童が減るという可能性が大きく、松並青葉地区以外の守谷駅周辺を一体的に踏まえて、今後検証し直していく問題だと認識しています。国立社会保障・人口問題研究所でも新しい推計値が出されて、守谷市の人口が右肩上がりになっている等の数字も出ておりますので、そちらも考慮して、市全体で協議していきたいと思います。
抽選について、できれば少人数の学校に入れたいが、抽選に漏れた場合は絶対黒内ということか。 抽選に漏れた場合の対応を考えてほしいし、その方針を早めに知らせてほしい。	抽選についてのご意見も多くいただいています。第1～第〇希望という形で御意見を聴取して一校に漏れたら黒内小しかないとはならないような抽選にしたいと思っています。また、市内の学校の受入れ人数の目安をお示しして、色々な選択肢を提示していきます。
松並青葉近隣に土地がないということだが、市全体として人口を増やしていく計画はないか。	用地が全くないということではなく、現在区画整理を進めている地区としては新守谷駅周辺があり、ここは黒内小学校区から御所ヶ丘小学校区に変更しています。その他の予定されている区画整理が、スマートインター（守谷SA）周辺があり、それ以外には計画はありません。今後人口が増えたとすれば、守谷駅周辺にマンションが建設されるかどうかは鍵になってくると思いますが、現時点では情報はこちらに入ってきていませんので、今のところなんとも言えない状況です。
マンション等ができてから対策を打つ（ネガティブアプローチ）のではなく、市としてこれから人口を増やしていきたいから学校も整備していくという逆の考え方で、市としてこういうふうにしていきたいというものが一点ほしいという意見です。 教育委員会はこの問題がんばっていると思うが、保育関係の部署は、保育所をいろいろなところに建設している。それを受け子どもが増えるということはわかるのではないか。まとめる企画部門との連携はどうなっているのか。首長部局と教育部局でちがうから連携難しいかもしれないが、市として市長を含めて考えてほしい。	市では人口ビジョンを作っておりますので、教育委員会で持っている実績値と人口ビジョンで合わせた形で、どういうまちづくりをしていくのか、企画部門と都市計画部門と今後話し合っていていきたいと思っています。
黒内増築は令和元年での推計での増築か	おっしゃるとおりです。

令和元年の後に発注かける時点で再推計はしなかったのか	当初計画よりさらに教室数を増やして増築し、足りるだろうと検討していましたが、推計が甘かったという結果となりました。 増築できる面積にも限界がありますので、最大限で3階建てで普通教室15と特別教室が1、計16教室でいけると見込んでおりましたが、特別支援教室が増えたことなど、市の推計の甘さというところです。 その後も市独自に住民基本台帳による0歳児から
令和元年以降は推計されてなかったという認識でよろしいのですか。	5歳児までの人数をみていました。その間、児童数推計はそれほど差異がなかったのですが、必要教室数が想定以上に増えたという結果です。
特別支援教室が増えたから教室が足りなくなったとのことだが、理科室などの特別教室はどうなのか。単純に足りないということですよ。	当時の推計を基に学校と協議した際は、音楽室だけ増やせば大丈夫との話でしたが、いざ運営していくと理科室も足りないということが分かってきた状況です。実際運用してみないとわからない部分もございます。
守谷中学の増築もいずれ足りなくなるのか	今のところは大丈夫と見込んでいますが、推計なので確実とは言えません。毎年、業者による推計と移動後のお子さんの進学先意向調査を基に、推計学級数を把握し、不足の可能性が見えたらすぐに増築対応できるようにしていきます。
移動する方が必要数に達しない場合どうなるのか。そのときの対策はどうなるのか。	仮に教室数が足りなくなっても、プレハブ内に余裕教室を作り、受け皿としていきたいと考えています。
アクティブラーニングモデル校は、黒内小学校で行うことは検討していないのか。	郷州小、御所ヶ丘小で始まるプログラミング等については、モデル校として始まるので、実績を積んだ上で、黒内小学校や他の学校でも空き教室があればそこを活用して始めていきたいと考えています。
高学年と低学年で黒内に通っている。R7年1年生を対象にしているが、在校生向けの受入れ人数も資料として見せてほしい。 コロナが終わっても人数が多いため制約が多い。移動を前向きに説明していただき、詳細がわかるような情報発信をしてほしい。 制約のない楽しい学校生活を送れるような対策を	他の学年でも受入人数を設定していきます。 郷州小は使用している学級数に比べて保有教室がかなりありますが、すべてを1年生にすると学年間のクラス数に不均衡が生じてしまうため、調整しながら他学年の人数をお知らせしていきます。 各学年、プラス1～2学級となるように、受入人数の目安は設けていく予定です。

早急にしていきたい。	
守谷小の空き状況はどれくらいか	使用教室が31教室で、余裕教室が2教室です。教室数からすると一杯に感じますが、1クラスは35人の定員となっており、31学級あっても守谷小学校の人数は762人(1クラス35人で計算すると22教室分の人数)ですので、余裕はある状況となっております。
選べる余地はあるということか。	守谷小学校も選択肢の一つとしていただいて大丈夫です。 今回スクールバスでの通学先に守谷小を入れなかった理由については、黒内小学校区と隣接しているということで歩いて行ける範囲であること、また、守谷駅前で今後人口増となった場合に守谷小に行っていただくためとなっています。
スクールバスは有料か 1便とのことだが、全員乗れるのか	無料です。 1便というのはバスの台数ということではありません。人数に応じた台数になるので、1台で1便かもしれないし、2台で1便かもしれません。全員が乗れる台数を確保します。
南守谷駅の近く、西友の前のマンションが郷州小に行くのと郷州小がいっぱいになると思うが、算出しているか	推計に反映した上で算出しています。 開発計画関係は計画が出た時点で、担当部署と情報共有しています。
小学校がパンパンで、守谷中大丈夫というのが不安である。 現時点でどれくらい空いているか 小学校は御所小、郷州小に行っても、守谷中に行けるキャパシティはある？	守谷中学校は昨年度増改築しており、現在15学級ありますが、保有教室は25学級分あります。推計上は大丈夫ですが、上振れの可能性もあるため、小学校在学中に意向調査をさせていただき、間に合わないようであれば早急に増築を検討します。場所は、プール跡地として校庭はつぶさない方向としています。
黒内小増築のときに校庭にプレハブがあったが、それをそのまま使うことはできなかったのか	確かに増築をするときに、仮設校舎を建てましたが、そのままにすると校庭が狭くなってしまうことから撤去しました。また、あの仮設校舎は2～3年程度の使用向けのものなので、今後想定しているプレハブとは仕様が違ってきます。
今後のスケジュールについて、4月13日の説明会では決まったことだから、という説明になるだろう。 アンケートをみると、一人一人の事情も違うし、	今回12月時点で検討された対策案について、いろいろなご意見をいただいた上で現在の検討案に収束してきた経緯があります。 令和7年度以降、教室数が不足するという見込み

反対意見の方たちは今回の説明会にはいないだろうが、今後意見を言う場がないまま決まるという流れでよろしいのでしょうか。	がでておりますので、結論を出さざるを得ない時期に来ているというところで、反対の方もいらっしゃると思いますが、今回は、この場でいただいた御意見や昨日から行っているアンケートでいただいた御意見を、できるだけ反映させて上で進めていかざるを得ません。この事前説明会についても松並青葉全地区に郵送しておりますので、反対の方もこの場にきていただき、御意見をいただきましたかっと思っております。 反対の方には大変心苦しい結果となるとは思いますが、本日説明した案を微調整して3月中に決定し、4月13日に説明させていただく流れとなっております。
アンケート抜粋の円グラフを見ると賛成を前提に進めているが実際には反対がかなり多い。この中に収まらない声もたくさんあったと思います。それぞれこの地域に来たくて来た方たち。決定事項として言われてしまった。 こういう案は他県でもこういうバスについては聞いたことがない。 スクールバスによる事故などがあつた際には詰められるだろう。アフターケア含めて、時間をおいて考えが良いのではないかと考える。 時間がないのであれば、ケア含めて検討していただきたい。	貴重な御意見ありがとうございます。
そもそも選択肢にないような小学校を選ばなければならない。 ご近所からの評判とかも聞けない。 保育園のように、下見などはできないか。	来年度5月18日に学校説明会をした後に、後日学校施設見学会も開催する予定です。
保育園ママ同士の話。 黒内の話。休み時間のトイレは行列で我慢必須、低学年では漏らしてしまうというのを聞いた。 生活の不便を強いられているところがあったり、人数が多いことによって学力への影響とかはあるか	トイレについては、初めてお聞きしました。明日早急に学校に確認し、事実であれば対策を講じたいと思います。 体育を教室で行っている状況も把握しています。 音楽、理科、図工など、各校1つ2つしかない教室も十分に使えていない状況と聞いています。 学力について、各校の点数はお伝えできませんが、守谷市は県で1番で、市の教育水準は全体的に非常に高い状況です。黒内小学校も高い水準を保つ

	ており、学力は下がらない状態を保てております。 しかし、教育活動への影響も今後はゼロではないため、なんとか皆様のご協力をいただきたいと考えています。 ※事務局追記：黒内小学校に確認したところ、トイレの順番待ちで漏らしてしまうようなことはないと確認済み。
--	---

Q	A
当初案では、地区の区割りだったが、反対意見が複数あって選択制に至った。 区割りのアンケートに賛成も多数あった中、先週末の説明会や自由意見欄で区割りを望む人もいる。 地区の区割りは3月の答申で一切反映されないということで間違いないか。ふりまわされないか	当初案（地区ごとに学校指定）に戻ることはありません。
令和6年度に変更を希望する方はどの程度いますか？ 令和6年度に移動を考えている。	申立手続きを終了している方は8名です。 相談は複数件入っている状況ですが、その方たちは、現時点では申立には至っていません。
郷州小や御所ヶ丘小の地区の方々は、松並青葉から児童が流入することについて、住民の方々の御意見は反対意見が多いものなのか。	各学校のPTAには既にお知らせしていますが、大きな反対意見は寄せられていません。 地区の皆様については、まちづくり協議会の会長さんにしか説明をしていない状況ですが、学校は地域の核になる施設であるため、児童が来てくれることは歓迎すると言われています。もちろん地域には様々な意見があると思いますが、現在は教育委員会には反対意見は寄せられていない状況です。
選択制になったことで、市も想定通りに進まないことがあるかと思う中、支援策を考えていると思うが、地域の方々から不満が出るとは思いますが、不満に対して、選択した地域の責任になることはないか？ 別の考えも考えていただけるということか。	前回の説明会でもそのような意見が出ましたが、今回このような事態となったのは、市の推計の甘さというところで肝に銘じております。 地域の皆様に責任はありません。市としましても、大切なのは子どもたちの教育環境の確保ですので、結果として課題解決に至らない場合は、様々な対策を考えていきます。
選択制ということで近くの黒内小を考えているが、御所ヶ丘小や郷州小を選ぶにあたっての魅力、メリットとかが分かるものは提供されるのか。	学校の情報を知りたいという御意見が多かったので、小中学校の概要として、昨日、各校からいただいた情報をHPに載せています。 4月以降には学校のPR動画を順次発信していき、5月18日には、9校すべて集まっての学校説明会を実施予定です。その後、5～6月に、学校施設見学会も実施していきます。
アンケート結果や質疑応答内容を確認した上で質問。 御所ヶ丘小と郷州小に200名ずつ移動しないと解消できないと思うが、家庭によっては自家用車の送迎は可能か。 多くの台数が送迎することで近隣の住民に迷惑がかかるのではないかとすることを危惧。	現在も家庭の事情で送迎している御家庭はあるため、禁止することはありません。
区域変更や統廃合について 時限を決めて選択制を維持するのか。	中長期的な市内全校の適正規模見直しは、すぐに行うことではありません。また、今回の対策は、この先1

統廃合等あっても郷州や御所ヶ丘を選択したことは在校中は維持されるのか？	0 年、1 5 年の時限的な対策となりますが、途中で統廃合等が行われても、スクールバス通学者が在校中は、その選択は維持されます。
今回の案がうまくいかなかった場合、過大規模校が令和 2 3 年ごろまで解消しない。 文科省ではなるべく早く過大規模校を解消するように通達があるようだが、市としてはいつごろを目途に過大規模校解消のスケジュールを組んでいるのか。	あくまでも予測であり、希望にもなりますが、まずは 3 割の方に移動の御協力をお願いできればと考えています。その後の推移をみて、令和 1 5、1 6 年ごろには、この制度を継続するべきかどうか判断することになると思います。
1 0 年ごろという年数は、文科省がいうなるべく早くということに一致するという認識か？ 1 0 年あれば 5 年ほどで新設校を建設することも可能だと思うが？	文科省からは、大規模化が続く場合、解消に向けて新設もしくは学区変更の見直しなどを検討するという指針が出ていますが、新設校は建設して開校するのが令和 1 2 年であるスケジュール感となり、その時点では黒内小学校児童数は減少傾向に転じ、小規模校、場合によっては単学級になることも考えられることから、今回の対策としては検討していません。 また、これまでは、通学区域審議会を児童生徒数が多くなった際にのみ立ち上げ、課題を審議してきましたが、これからは毎年審議会を存続させ、審議を継続していきたいと思っています。 その中で、徒歩圏での通学区域の変更等も考えていきます。令和 7 年度対策としては、なかなか地域の理解も得られなかったという経緯がございますので、長期的に地域と話し合っていきたいと思っています。ご協力をお願いいたします。
(意見) 都市計画との連携が取れない中では、「これ以上は児童数が多くなってしまうため、開発しないで」と伝えても権限が届くか分からない中、新設も一つの案として検討していただければ守谷市ももっと盛り上がっていくかと思うので、御意見です。	御意見ありがとうございます。 今回の件も踏まえ、企画部門、都市計画部門とも連携して、どのような形で守谷市の人口を増やしていくかを考えていきたいと思っています。
P9 黒内小の現状の中で、お昼休みの時間が 3 つに分かれているという話はどういうことか。 給食を食べる時間がずれてくるものなのか	1 2 0 0 人ほどいる児童が一斉にお昼休みに入ると、6 0 0 人ほどが校庭に出て遊ぶことになってしまいます。そのため、掃除の時間、スタディタイム、お昼休みと時間帯を 3 つに分けて、クラスごとに組み合わせて校庭に出る人数を限定し、児童が重ならないよう実施しています。どの学年もクラスも、最終的には同じ時間、週の時間は確保できるような形となっています。 給食の時間は、全学年同じです。
P29 (スクールバス導入による学校選択) 児童クラブ利用する家庭 自家用車による送迎が困難なご家庭については、バスで松並青葉地区や守谷駅周辺等に送ってもらった後	児童クラブは原則保護者引渡しとなっているため、通常ですと、保護者が児童クラブまで迎えに来るということになります。バスを利用する場合、バス到着場所まで迎えに来てもらうことを想定しています。

は、親が迎えに行ければいいが、子どもが一人で帰ることを想定しているのか。	
迎えに行くところは屋外になるのか、施設の中になるのか。	検討中です。
保護者による送迎も可ということだが、通常の送迎や運動会や授業参観の行事の際の、駐車場は確保されているということでしょうか。	御所ケ丘小の場合は、イベント等の際に反対側の御所ケ丘中の駐車場を現在使用しています。 郷州小は、隣接しているプール施設の跡地使用を検討しています。
黒内小はプール施設がなく、常総運動公園で行っていると聞いたが、他の学校はどうなっているのか。	黒内小に限らず、今年度から全校で自校プールは使用していません。施設の老朽化のため、今年度から方針を変更し、常総運動公園やみずき野のプール施設を使用して実施しました。 来年度以降は、小学3年生から中学3年生は常総運動公園で水泳授業を実施し、小学1、2年生は授業の民間委託を予定しています。市内事業者であるジョイフルアスレチックとイトマンスイミングスクールで、全小学校の1、2年生の授業を民間委託するよう準備を進めています。
指定の体操服について、転校した際はその体操服は使用できるのか、また買い替えた際に補助はでるのか。	転校前の学校の体操服は移動先でも使用できることは、学校側に確認しています。 買い替えた際の補助については、現在検討中です
学区編成等の経緯を聞いたが、スクールバスを利用するとか考えると、親としては最悪のケースを考えなければならない。 郷州小や御所ケ丘小の保護者の全員が賛成しているとは限らないし、実際にそのような話を聞いたことがあり、市の想定よりも黒内小を選択する人も多いと思うが、並行して小学校の新設を考えた方がいいと思うが、性善説としてきれいに移動してもらえると考えているのか。	実際には、移動人数が多くなかったことも想定しなくてはいけないと考えています。バスもご用意させていただき、黒内小学校の過大規模化についてもプレハブ設置等を考えていきます。また、同時に、企画部門などと協議して、新設についても市全体の観点から検討していきたいと思います。
学区編成については、守谷市全体で考えるべきだと思う。 そういう案を検討していたかと思うが、住民の反対や議員の意見もあってできなかったということか。	徒歩圏の通学区域の変更は、通常3、4年かけて地域の理解を得て丁寧に行っていくものですが、今回は令和7年度からの実施という短い期間での対応だったため、地域の方の理解を得ることが難しかったと考えています。 ただ、意見をいただく中で、中には現時点でも移動しても良いと考えてくれる方がいることもわかりましたので、来年度以降、適正配置・適正規模といった観点で引き続き検討していきます。徒歩圏の通学区域変更案が、全くなかったというわけではございません。
区割りありきで説明会に臨んだが、選択制ということ	通学区域審議会が3月上旬にあるため、そこで皆様の

は決定でよろしいか。 松並青葉地区全体ということではよろしいか？それとも黒内小学校区全体なのか？	意見を伝えさせていただいた後、3月中旬に決定予定です。変更はないとご理解ください。 対象地区としては2つあり、黒内小学校区全体では徒歩での通学区域変更となり、このうち松並青葉地区限定でスクールバスを利用して選択できるということです。
黒内小学校の裏にある公園の土地の所有者はだれになるのか。 その土地（土塔森林公園）を利用できないのか。	長龍寺の土地を市がお借りしている形です。 土塔森林公園は保存緑地に指定されていることから、プレハブや増築棟を建設するには困難で、ハードルが高いと考えています。公園として位置付けられているので、地域の方のご理解や、所有者の承諾も必要となります。
プレハブはどこにどれくらいの大きさの建物を検討しているのか。	体育館脇の職員駐車場敷地を検討しています。 建物は2階建てで、特別教室（理科室と図工室）や普通教室を3～4室を確保する予定です。
今日現在でどのような黒内小の対策検討案をおっしゃっていただけるのか。	敷地内でのプレハブによる増築と通学区域変更の見直しが挙げられます。 新築に関しましては、つくばみらい市等の近隣市は区画整理、開発時に学校用地を確保し、学校建設が計画時から予定されていましたが、松並青葉地区が整備された際、学校用地は予定されていませんでした。その当時、黒内小学校自体が単学級または2学級の小規模校だったため、松並青葉地区に学校を設けなくても、すぐ近くに黒内小学校があるとの判断があり、今日に至っています。 これまでに2回増築して対応してきましたが、限界がきていることも充分わかっておりますので、新築については、現時点では明確にお答えできませんが、企画部分とも協議し、通学審議会での審議やコンサル等の推計も踏まえて検討していきます。 守谷駅周辺のマンションの可能性なども含め、まちづくりの一環として企画部門と協議していきたいと考えています。
プレハブでの対策ということだが、移動者が3割の移動者を見込んでいるが、それが想定外の場合、箱モノの問題としてはクリアできるのか。	教室数の確保としてはできます。 ただ、校庭だけは、広めることができません（確保が必要）。
仮に学校を移す選択をした場合に、相談学級に通っているため、児童の精神的なケアを懸念している。 学校を変更した児童、保護者に対して、ケアしていただける窓口は設置していただけるか。	市としても、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー配置の強化を図っており、今回の件に限らずサポートはさせてもらっています。 元々体制としては整っているため、専門家とのつながりを継続し、対応していきます。
登下校の安全性について、松並青葉から御所ケ丘小学	松並青葉から御所ケ丘中までの通学ルートについて

校にスクールバスの運行されるようだが、中学校は御所ヶ丘中学校に自転車で通学することになる。 松並青葉から御所ヶ丘中学校まで安全なルートがあまり思いつかないがどうお考えか。	は検討中です。 道路管理者と、歩道の管理を検討していかなければならないと考えています。
北園交差点の混雑回避として、遠回りすることもあるという内容だが、その内容があれば教えていただきたい。 茨城県の管理ということだが、県の見解はどのようなになっているのか教えていただきたい。	北園交差点の横断児童数が増えるに当たり、市としては通学補助員の設置、県も歩道の拡幅、待機所の確保また、警察も青信号時間の延長等の対策をしてきました。また、以前は歩道橋設置の案もあったが、県としては通行が朝と夕のみに集中し、日中はあまり使われていない状況であるため、歩道橋自体が撤去の方向である中、話が進まなかった経緯があります。 今後も県に働きかけ、検討していきたいと思っています。
本日の説明会は令和7年度の入学の方向けだったが、令和8年度の入学者向けの対応にはどのようなになっているのか。	制度の開始が令和7年度の入学生からということで、制度が浸透するまで、令和8年度以降も同様に考えていただければと思います。
御所ヶ丘小、郷州小を選択しても抽選があるということとは落とされてしまうこともあるということなのか。	あくまでも受入れ人数は目安です。 この考え方として、現在の想定クラス数+1・2クラスとなるような人数を、目安として記載していますが、申込状況によっては、学校と相談して受入れ可能かどうかを検討していきます。 それでも、人数超過した場合は、第1希望第2希望を調査させていただき、第2希望には入学できるように対応していきたいです。
第2希望が黒内小だった場合、それは間違いなく入学できるものなのか。	本来の通学区域は黒内小ですので、黒内小学校に通えないということはありません。
令和8年度以降の同じ選択制度というところで、具体的にいつまで時限的な措置という認識であっているか。 例えば、令和7年度に入った子供が黒内小で令和8年度に入学する子供が別の学校に行かされるということはないという認識でよいのか。	スクールバス導入については、黒内小学校の児童数が適正規模に近づいた時点で終了させていただきたいと考えております。終了した時点で他の小学校に通っていたお子さんを途中で黒内小に戻すことはいたしませんし、令和7年度に入学されて、その下にお子さんがいらっしゃる場合、兄弟が一緒に学校に通えるように最大限の配慮をさせていただきます。 ただ、難しいのはスクールバス終了時期、例えばきょうだいの歳の差が7つ以上あった場合、上のお子さんが卒業し、その学校に慣れているから入学前のお子さんも同じ学校に通いたいという御希望があった場合、その時にスクールバスの終了年度がみえている場合は、ご相談させていただくことになると思っております。 しかし、しばらくスクーバスは続くと考えておりますので、きょうだいは同じ学校に通えるよう対応してい

	きます。
バス停について、商業施設が使用できれば1か所になるとの話だったが、全員が移動することになった場合大きな人数になるが、待機場での安全性はどのように考えているか。	登校時の待機場所について、商業施設の待機場は屋根があるため、天候問題は大丈夫だと考えており、バスの乗遅れはシステムで管理してまいります。待機場での安全性については、保護者の方の御協力もいただければありがたいが、バス停に通学補助員のような方を配置することも検討します。
黒内小学校の設備について、特別教室はプレハブという話だったが、体育館の不足はどのように考えているのか。	他の学校でも雨の日等は体育が重なり、体育授業を教室で実施することもある状況です。黒内小学校は、増築時に新校舎の一部を2教室合わせた大きさで使用できる仕様としているため、ここを空き教室とするなど、対応策について学校と協議していきます。
御所ヶ丘小や郷州小に令和7年度以降入学する家庭に対して、何も説明をしていないと思うが、決定してからの説明だとかなりの不満等の負の感情を抱かれるかもしれないと感じてしまうがどのように対応する予定か。	御所ヶ丘小と郷州小に通われている全保護者に対しては、学校から既にメールにてお知らせ済みです。ただし、令和7年度以降入学するご家庭についてはまだお知らせしていませんので、今後学校と相談して対応したいと思います。
(要望) P39 スケジュール 4月13日の説明会の際には、P23のような学校を比較できるような資料を用意していただきたい。 児童数学級数教員数、英語の時間等、クラブ活動の種類、私立中学校の進学率？ 校庭の広さ、教育委員会が作成するフラットな目線の資料を用意していただきたい。	ご用意いたします。
(要望) 学校見学会後のスケジュール感後ろ倒しできないか	バスの契約の関係から、あまり後ろ倒しできないと思うが、業者と協議して検討してまいります。
(要望) 定期的な移動予定者数の公開をお願いしたい。	市HP上で期間を区切って、公開していききたいと思います。
学童保育について、駅から近い松並青葉地区は徒歩圏をメリットに感じている方が多いと思う。 家帰って車に乗って迎えに行くと19時を過ぎてしまうかもしれない。 19時迎えの延長を検討していただけるか。 また預かり場所について、学校周辺等で保育施設等は検討しているのか。	お迎え時間の延長は難しいと思いますが、駅周辺での預かり場所については、担当課と協議してまいります。 そこまではスクールバスでお送りする予定です。
(意見) 令和7年度に、この問題を早期に解決するには、バススクール案というのは現実的にこれしかないと思うが、参加されている皆さんが賛成しているわけではない。なにかしら他の対策案を講じて並行して行われなくてはならない。	先週の日曜日の説明会対象も松並青葉地区でした。 徒歩圏の通学区域変更案としては、黒内小学校と他の学校の隣接している周辺地域について、幹線道路や線路で区切ることで通学路の安全を確保し、こどもたちの人数も周辺の学校に寄せていくことができるということを対策案としてまとめ、12月以降、該当地域に提案をしてみました。しかし、該当となった地域は

先週の日曜日の 294 号線より黒内小学校側の意見はどうだったのか。	昔からの祭礼の氏子のつながりがあつたりと地域の結びつきの強い地区で、令和 7 年度から突然学校が分かれてしまうのは非常に抵抗があるというご意見をかなり多くいただきました。令和 7 年度からという短い期間での対策実施は難しかったですが、こういった地域性なども配慮し、今後どうしていくかを引き続き協議していきたいと考えています。
294 号線より黒内小学校側の意見として、松並青葉地区の移動者が少ない場合、松並青葉地区への一種の負の感情が出てしまうのではないかとすることを危惧している。	全地区、全保護者向けアンケートの結果、スクールバスのみの対策だけで良いという回答は、意外と少なかったです。 徒歩圏の通学区域の変更を実施した方がいいとの回答が 3 割。徒歩圏の通学区域変更と同時にスクールバスを実施した方がいいとの回答が 4 割。 この結果からは、皆さん、徒歩圏の通学区域の変更をしなくてはいけないという認識はあると考えています。この考えが絶えないうちに、通学区域変更については引き続き検討していきたいと思います。
この件について、市長は把握していることなのか。 教育委員会だけで決定していける案件ではないため、市長がどのようなお考えなのかを伺いたい。 情報提供をこれからしてほしい。	状況については逐一市長に報告しており、他部署と協議して市全体として最良の案を提示するようにということになっています。 校舎の新築だけではなく、子どもたちの居場所等、全体的な教育環境も含めて、駅の東側について検討していきたいと考えています。
推計について。 守谷市全体の推計か。黒内小の地区に限ってみているのか。	市全体を行政区別に分けて推計しているため、学区別に分けて検討することが可能となっています。
御所ヶ丘小と郷州小にスクールバスに希望を出した後に、家庭の事情で黒内小学校に戻すことは可能か。	可能です。
バス 1 便というのは、バス 1 台という意味なのか。	1 便というのは、その時間帯に 1 回ということで、1 台というわけではなく、人数に応じたバス台数を確保する予定です。
来年度以降も本日のような保護者説明会は実施するのか。	制度が浸透するまでは、説明会は必要と考えています。
黒内小の休み時間が他の学校より 5 分短いとあったが、そのことについて教えて欲しい。	学校として短くしているわけではありませんが、教室移動時間等を考えると、実質短くなっている部分はあるかもしれません。
(意見) 子どもたちにとって遊びの時間はとても大切だと感じているため、休み時間の確保をお願いしたいと思う。	
(意見) プレハブについて、夏場は 50 度とかとても暑くなっていたということを聞いたことがある。箱があればよいという考えではなく、質も考えていただき	

たい。	
先生や子どもたちに負担がかかっている現状だと思っているが、子どもはそのまま黒内小学校に通うことを希望していることもある。そんな中、教員の数は増やすことはできないのでしょうか。	教員の数は、教室数等で定数が決まっていますが、教員をサポートするため、市費の補助員等を配置しています。黒内小に限らず、守谷市内はどの学校でも同じ教育の質を保っていることを強みにしているため、教員のサポートを含め、教育委員会として対応しています。
アクティブラーニングとは、専門の方が授業をしてくれるものなのか。	アクティブラーニング室というのはあくまでもツールであります。アクティブとは頭の中が活発になるということで、そのような環境を提供する教室のことです。その環境をより活用できるよう、教員の研修も併せて実施しています。
(意見) この対策は乱暴だと思い反対している。全国的に、過大規模校対策として空き教室がある市内の他校に移動させるということを行っている市町村はあるのか。	過大規模校対策としてスクールバスを運行している市町村は見受けられませんでした。多くの自治体では新設分離や、変わったところでは中学校に6年生だけ移動させて分校とするという対策を実施していました。6年生の分校ということも考えましたが、進学先の守谷中学校敷地内に6年生の校舎を建ててしまった場合、中学生と黒内小6年生の校庭の使用順序等混乱してしまうほか、学校としての一体性が失われてしまうという判断があり、採用に至りませんでした。ここまでにくるまでに、色々な対策は検討したのですが、現時点で収束した対策案ということで御理解いただきたい。
守谷中学校はこのような問題は起きないのか。	現時点では松並青葉の皆様が守谷中学校に入学したとしても、受入可能という推計になっています。ただ、今回は推計の甘さが招いた結果である点を強く反省しておりますので、今後も意向調査や推計業務を密に実施し、問題が発生しないように検討していきたいです。
学校の新設はできないのか。	建てられないわけではなく、今回の対策としては新設だと間に合わないということです。さらに、新設したとしても人口が減っていくことが推計で示されていることから、新設には慎重になっています。 また、新築については、15,000 平米以上の敷地面積が必要で、用地を確保できるかも不透明な状況です。新築の場合、概算ですが、45億から50億位かかります。
市長は新築するべきと考えているか、考えていないのか。	教育委員会として市長に状況を説明していますが、新築が必要かどうかは、まちづくりの企画部門などと協議していくようにと指示をいただいています。
スクールバスについて、1台につき何名乗りとなって	大型バスの定員は50人前後で、シートベルト着用の

いるか。シートベルトの有無や安全面について。座って乗ることができるのか。 将来何台くらいを想定しているのか。 スクールバス運行による道路の混雑が予想されるため、乗用車への配慮を検討していただきたい。	着座式で考えています。 バスの台数は、現時点で最大８台くらいになることが想定されています。 バスの台数が決まりましたら、毎年バス会社と、運行ルートや時間帯について、事前に検証していきたいと思います。
--	--

Q	A
2019年度（令和元年度）で推計調査を実施した際に、今回の状態を見込めなかった理由を伺いたい。	令和元年度の推計から令和3年度に増築を行いました が、令和4年度から推計値と実績値で教室数に差が 出てきたことから、改めて民間のコンサルタントに委 託をし、再度推計を行ったところ、児童数のピーク以 降の減少率が緩やかであることと、特別支援教室が予 想以上に増えていることがあげられます。
1月中旬のアンケート結果を加味して今回の案が導か れたとのことだが、どのように導かれたのか。	1月中旬のアンケート結果や直接教育委員会に、対象 地区に松並青葉一丁目とレーベンを外すのではなく 全地区で実施したほうが良い、という御意見が多数寄 せられました。松並青葉全地区であると対象人数が多 く、全員を郷州小や御所ヶ丘小に移動してもらうこと はできないため、選択制としました。
変更先の小学校として、御所ヶ丘小と郷州小の2校以 外を検討しなかったのか。	守谷小学校はなぜ外されたかという意見も多かった のですが、守谷小学校は現在、徐々に児童数が減り始 めておりますが、通学区域に守谷駅周辺を含んでお り、今後のマンション等の建設により、児童数が増え た場合に備え、今回の変更先学校からは外しました。
御所ヶ丘小学校と郷州小学校について、希望して選ぶ のか、それとも振り分けられて学校が決められるもの なのか。 一方の学校に人数が偏ってしまった場合どのような 対応となるのか。	完全に選択制になります。 偏ってしまった場合は、まずは受入れ学校の人数につ いて学校と調整し、受入れ可能人数を再度確認しま す。 また、第1希望、第2希望を聞き取らせてもらい、第 2希望に変更してもらう可能性含めて検討してまいり ます。
御所ヶ丘小学校と郷州小学校の保有教室数と余裕教 室数について、移ることが見込まれない想定になっ ているが、実際にもの凄い人数が移ることになった場合 受入れ学校は耐えられるのか。	現在の保有教室は、御所ヶ丘小学校が20教室、郷州 小学校が24教室です。現在使用している教室数は、 御所ヶ丘小学校が14教室、郷州小学校が15教室とい うことでかなり余裕教室があります。 仮に移動可能児童数が全員移動した場合でも、受入れ 可能という推計になっています。 ただし、現在1～6年生が1、2クラスの学校で1年 生だけ5クラスとか多くなった場合学校運営上難しい ことが予想されるため、現在のクラス数にプラス1ク ラスもしくは2クラスを想定しています。
黒内小学校は増築に対応するためプール施設をつぶ したとのことだが、御所ヶ丘小学校と郷州小学校にプ ール施設はあるのか。	黒内小に限らず全校自校プールは利用できない状況 です。常総運動公園のプールや市内の民間プール施設 を利用して水泳授業を実施しています。
スクールバスについて、令和十数年度になるとかなり の児童数が移動する想定になっているが、1便で乗り	1便＝1台というわけではなく、人数に応じた台数を 運行する予定です。

切れることができるのか。	
児童クラブについて余裕スペースを利用することだが、どれくらいの余裕スペースを保有しているのか。	原則令和7年度の1年生（希望があれば2年生以上）も変更可能であるという制度のため、一気に余裕スペースが埋まることは想定していません。 さらに郷州小ではコミュニティスペースを保有しているため、そちらのスペースも使用することを検討しています。 また、児童クラブについては、担当課と協議を行っております。
中学校の推移について、松並青葉の子どもたちが守谷中学校に進学する場合、中学校の受入れは可能なのか。	守谷中学校も増築が済んでいる状況で、実際に使用しているのは15教室で、25教室保有しております。 現時点での推計では、松並青葉地区の子どもたちが守谷中学校に進学した場合も受け入れ可能です。 ただし、推計については、これから毎年実施するとともに、黒内小学校区の皆様に進学先の中学校について意向調査を実施し、人数把握に努めたいと考えています。万が一教室数が足りなくなれば、現在使用していないプール施設の場所に校舎を増築したいと考えています。
3日間の説明会の結果を、上程案をもって審議会に臨むとのことだが、何をもって上程案とするのか。ここで聞いた話を一度市側で協議したものを再度説明いただけるのか、ゴールについて教えていただきたい。	本日お示しした案は、ほぼ決定ということで、方針はこの案でいきたいと考えています。今回いただいた御意見は制度設計として対応できる部分是对应させていただきます。答申案に取り込ませていきたいと考えています。答申案について再度のご説明は予定しておりません。
P34 スクールバス導入による学校選択について、御所ヶ丘小と郷州小の学級数は、支援学級を含む数字か。	特別支援学級を含む数値です。
令和5年度の5月1日の児童数の一覧では、既に御所ヶ丘小289名14クラス、特別支援学級が2、郷州小282名で14クラス、特別支援学級が3、令和7年度の段階で、人数が増えるけれども、特別支援学級は増えないという計算で数値を出されているのか。	この数値の求め方は、普通学級に通われる児童の人数と特別支援学級に通われる児童の人数の割合を出したところ、令和3年度以降その割合傾向が大きく変わった。その割合を乗じた形で出しております。特別支援学級は、8人で1学級になるため、その人数で教室数を割り返した数値となります。
変更後も、人数は増えるが特別支援学級は増えないという想定でいるのか。 現在郷州小に通われている児童数が290名から令和7年度に30名ほど児童数が増え、321名になり、新1年生が31名増えても、学級数は増えないということか。	普通教室は35人で1クラスになるため、人数が増えたとしても、学級数が増えるとは限りません。 この人数は6年生が抜けた人数になるので、31人増えたとしても、6年生が抜けるので、新1年生については、3クラスを想定しています。
郷州小学校は現在282名で普通級が11クラス、特別支援学級が3クラスの14クラスとなっています。令和7年度には、児童数321名で学級数14クラスとなっているが、クラスの内訳はどのようなになっているの	令和7年度は、普通学級が12、特別支援学級2の14学級となっております。

か。	
現在、黒内小で9学級ある特別支援学級が今後も増えていくことが想定される中で、郷州小学校は支援級が減っていくという推計をされているのか。	減っているというよりも、令和7年度の編入される人数を足し、特別支援の人数と普通教室の人数を割り返した場合となります。これで減らしていくということではなく、毎年度、新1年生だけではなくて、例えば在学生でも途中で教室が変わるということもございますので、きちんと対応しながら進めていきたいと思っております。
特別支援学級を希望する子供がスクールバスでの学校変更を希望した場合、平等に抽選されるということでしょうか。	そのとおりです。
学校の新設の要望が多く、アンケート結果の回答として、「候補地は探しづらい」、「候補地が少ない」という回答となっているが、「土地がない」というわけではないという認識でよろしいか。	もし、建設する場合、守谷駅より松並青葉地区の東側となるのですが、松並青葉地区全体を通わせる場合、25教室が必要となってきます。その敷地を確保する場合、15,000㎡ほどの敷地面積が必要で、その候補地の下調べはしておりますが、それが確実に入手できるかどうかというところもありますし、建設にかかる費用や、今後の児童数推計等も踏まえて市として検討していきたいと思えます。
「新設には5,6年かかる」という回答があるが、今実際に新築できたとして、義務教育学校として建設したら、中学校の学生さんを入れるというような検討もできると思うので、学校の統廃合も含めてご検討いただきたい。	現在は過大規模校である黒内小学校区について集中して審議しておりますが、これが終わりましたら、次は市内全域の学校の状況や通学区域等の審議に入ってまいりますので、その中で検討させていただきたいと思っております。
今後、統廃合も含めて検討されることについて、松並青葉地区に関しては、統廃合の対象にはならず、このような選択制が継続されるという認識でよろしいでしょうか。	今後の通学区域審議会でご検討いただく審議の内容は、具体的な学校の統廃合の話までは及ばないと考えています。例えば、複式の学校が発生したら、統合を検討する、という基準を定める形になると考えています。 かつ、松並青葉に関しましては、児童数が伸びている状況ですので、ここで他の学校と統合というのは、議論に上がってこないのではないかと考えています。
スクールの対象地区について、10～20分で確実に行けるとあるが、実際にバスを運行させて計測したものなのか。	バスで運行したことはございません。 今後バス業者が決定しましたら、朝夕の渋滞の時間帯にどのルートが一番いいのかを検証していきたいと考えております。
バスの乗降時間は考慮しているのか。 モコバスの停留所を検討しているようだが、児童が15名程度乗り降りした場合、すごく混むことになる。 バスやトラックが通る道路だと思うので、その辺も考慮した設計をしていただきたい。	人数に応じて、乗降に係る時間は違うと思いますので、人数が確定してから、どのくらいになるのか、他自治体の事例も確認した上で、バスの乗降時間を設定していきたいと考えています。
御所ヶ丘中学校は現在3教室しか空き教室がないよう	御所ヶ丘中学校も推計を出していますが、毎年減少し

だが、実際にパンクはしないのか。	ている状況であります。現在の推計では問題ありません。
(意見) 通学区域審議会 5 回というのは少なく感じる。 子供の人生を 5 回の審議会で決めていて、さらに 1 月のアンケートで審議していた内容がひっくり返ってしまっている。 反対が 3 割で賛成が 7 割であればむしろ押し通してもよい案であったのではないかと個人的には思うため納得感がない。 住民が納得できるような情報発信をしていただきたい。 新設ではなくスクールバスに変更した際に浮いたお金について、子どもたちが得る利益だったと思うので、どのように子どもたちに納得できる利益をもたらしていただきたい。行政が得ただけで終わってはいけないと思う。 その点も含めた対応を検討していただきたい。	審議会としては 5 回だが、その他一部の委員さんに集まってもらったり、学校施設見学会を行ったりと、回数には出てこない活動を実施しています。 情報の発信については、今回皆様に十分にお伝えできなかったことについて、色々な方から御意見をいただいています。市 HP に掲載したから良いとか、広報に掲載したから良いということではなく、しっかり情報を発信していかなければならないと反省しております。 情報の出し方について考えていきたいと思います。
スクールバスを選択した場合、行事の際に保護者がどのように学校へ行くことになるのか。	臨時の駐車場確保とバスの運行を実施します。
スクールバス通学に伴う、子どもの運動不足解消の対策について。 前者は論点のすり替え。昼休みに遊べるというのは、当然享受すべき権利であり、それが失われているというのが、元々議論の出発点です。それが元に戻るといったら、通学で使う時間がマイナスになっているので、何も補っていないということになる。 予算の部分も含めた前例にとらわれない検討をお願いしたい。	現在は具体的な対策案はないですが、グラウンドで遊べる時間が限定されている黒内小学校に比べ、市内で一・二番目に大きなグラウンドを持つ御所ヶ丘小学校と郷州小学校では、休み時間の外遊び時間が増え、若干ではありますが運動の解消につながると考えています。 実際にスクールバスが導入されれば、運動不足解消対策について、学校と考えていきたいと考えています。
対象区域が松並青葉全体となったと聞いたが、アンケートの中では一丁目とレーベンが外れている。 そんな中、1 回目と 2 回目の説明会の出席者でレーベンと一丁目の人数が少なかったので、ちゃんと情報発信をしていかないと、自分は対象外だという認識のまま参加していない人がいるのだとしたら、その方々の意見が反映されないということになると非常に危険	松並青葉地区全戸に郵送させていただいたのですが、説明会の場に来ていただけなかったことを危惧しているため、町内会長さんと協議するなど、周知について検討したいと思っています。 4 月の説明会というのも、松並青葉地区全体への説明ということで想定しておりますので、そこは確実にきいていただけるように、なんらか策は講じていきたいと

かなと思うので、その点についてどうお考えなのか。	考えております。
P21 で、今後対象となる人数が、令和 7 年から 97 名、令和 8 年度で 189 名が対象となっている中、P23 で、御所ヶ丘小と郷州小への受入れ人数見込みが、令和 7 年度で 81 名、令和 8 年度で 73 人となっている。 P23 の令和 7, 8 年度の人数を足しても 189 名にはならないのは、変更希望者が必ずしも全員通うことはできないということになるのか。	対象人数が、松並青葉地区で増えていくので、受け入れ人数見込みは各年度の新 1 年生の想定される人数となっておりますので、そこを足し込んでいくと、毎年若干対象人数に比べて上振れていく感じです。 それぐらいの人数であれば、受け入れ先の学校、希望していただけるのであれば、可能な限り、人数の調整を行っていきたいと思っております。
一部の児童が黒内小から変更したとしても、一定数は黒内小学校に通わなければならない。その状況下で、歩道橋ができないという質疑応答について、県が担当でできないということだが県が担当でなぜできないのかを教えてください。例えばお金を出すことができないのか。守谷市でつくことはできないのか。ふるさと納税を充てること。新設校を作らないのであれば、そのお金が浮くので歩道橋設置が可能なのではと考える。 設置コストは分からないが、数年償却という形でできれば良いのかなと思うが、その辺はどうなのでしょう。	市の方で新築しない分、歩道橋設置に充てたらどうだという意見もありますが、建設したとしても、将来的に利用人口が減少することも想定されているため、必要性について、今後検討をしていきたいと思います。 以前に設置について検討した際に、県からはエレベーター付きの歩道橋として 4 億から 5 億という試算でありました。 子どもたちの命をお金で図るものではないと考えますが、お金をかけなくても解消できる別の方法について引き続き検討させていただければと思います。
黒内小に通う場合のプレハブについて、耐震は大丈夫か。	鉄筋コンクリート造の普通校舎と比べれば間違いなく強度は落ちるが、強度が強いより良いプレハブを業者と協議しながら設置したいと考えております。
人数が増えた場合、校庭等へのスムーズな避難は可能なのか。道が狭い等の対策はどうなっているのか。	令和 3 年度増築の際に、旧校舎前の花壇を撤去し、かつ、グラウンドへ降りる階段 2 か所が狭いので、広くしたり、緩やかにしたりする対策を行いました。 場合によっては、避難場所として隣接している森林公園等が活用できるかも含めて検討をしていきます。
統計について、多少の増減はあると思うが、今回の推計値はマックス値として考えられた値なのか。	現時点では上限値で考えています。ただし、上振れ下振れも考えられる数値であるため、毎年度推計値を取り続けることで、正しい数値を把握していきたいと考えております。
松並青葉で人を動かそうということになっているが、予想に反して移動者が少なかった場合、黒内小学校全体として、松並青葉地区以外の方の徒歩圏内の通学区域変更は検討しているのか。	松並青葉だけではなく他の徒歩圏の地域にも働きかけている状況であるため、松並青葉地区だけに絞ってやっているわけではないので、引き続き他地区の協力について働きかけています。
バスの添乗員について、教職員ではないとの質疑応答があったが、有事の際に対応ができるような方なのか。	他自治体でも確認しましたが、添乗員の要件を設けているところはありませんでした。 ただ、車内での体調不良等想定されますので、看護師は難しいとは思いますが、添乗員を決めた段階で、研修をすることで安全対策を徹底いたします。
P21 で、想定される対象人数とあるが、その年度の新	令和 7 年度の人数は、全体の人数の 5 割程度がきょう

1年生の何パーセントが対象と想定しているのか。	だいのいないお子さんと想定しています。
想定している人数がかなり少なかった場合（例えば二丁目が12人となっているがそれが2人であった場合）、バスの停留所を隣の丁目と統合することもあるのか。人数があまりにも少なかった場合、帰りが心配であるため質問しています。	登校時は駐車場に皆さんで一斉に乗ってもらうことを想定していますが、下校時は（学年別や児童クラブ利用有無などで）人数がばらけるため、丁目ごとのバス停を想定はしているのですが、バス停については、中間地点ですとか、柔軟に対応できると思うので、できれば1人2人で帰らないよう調整したいと考えています。
（意見） 5割との話があったが、中学校のことも考えると自転車通学ということで遠方になることであまり希望者はいないのではないかなと思う。 スクールバスや自転車通学は少なからず負担を背負う形になると思うので、犠牲となる方とそれ以外という構図で町内が分断してしまうのかという心配をしているため、なにかメリットを考えていただけると良いのかなと思います。	（意見の為、回答無し）
令和元年度のタウンミーティングに参加した。 その際、増改築で対応しますと言った教育長本人が、今この場にいないことに不満がある。市の見通しの甘さでこのような状態になったということだが、守谷市の職員の中で黒内小の保護者や、通われる予定の保護者は何人いるのか把握をしているのか。 その世帯がまず黒内小以外の選択をするということが見通しの甘さの責任ではないかというくらい、松並青葉の住民に黒内小以外の学校を選択して欲しいということは重たいことだということを理解していただきたい。	行政の都合で皆様のご迷惑をかけて申し訳なく思っております。
学校が離れると親が送迎することがあると思う。ガソリンや送迎の時間等を浪費するため、モリン等を活用してメリットを与えてもらわないと動けない。 例えば、学童費は無料するだとか、ダンス教室やプログラミング講習等を受けられるようにして欲しい。	今すぐガソリン代を出しますとか、教室を開きますということはこの場ではお答えできないので、持ち帰って中身を精査して、提案としてお受けさせていただきます。
北園交差点の渋滞について前々から危惧しており、歩道の拡幅プロジェクトの一員である。 歩道橋の話が出た時も、もう一度話さないといけないなと思ったところです。 新守谷駅周辺の開発で道路の幅と自転車で通う子供がいるということをしっかり意識して開発していただきたい。 遮断機のない踏切を子どもたちが渡ることでないと万が一があってはならないと感じている。	御意見ありがとうございます。 そのように対応します。

スクールバスのバス停について、御所ヶ丘小学校も郷州小学校も乗り場は一緒になるのか。 同じであると、乗り間違え等も発生してしまうのではないか。 どのような対策を考えているのか。	バス停にも大人の配置が必要なのではないかという意見を多くいただいておりますので、バス停に通学補助員等を配置したいと考えております。 また、バス会社には相談していませんが、バスをラッピングして色分するなど、子どもが分かりやすい対策をいたします。
令和7年度から11年度にかけて、対策をしたとしても黒内小学校児童数が1000人を越えていて依然として多いが、先生方のご負担、児童への対応はどのように考えているのか。	プレハブ設置、北園交差点を回避するルートの検討と運動対策として中央黒内公園を占用し、黒内小学校で利用できるように調整したいと考えております。 その他、どのようなことができるかを学校側と検討してまいりたいと思います。
バス停までは保護者の付き添うという認識でよろしいか。	バス停までの登校班ができるまでは、可能であればバス停まで保護者付き添いで来ていただければ助かります。 事情により付き添いができない人もいると思うので、通学補助員等を配置することで確実に子どもたちがバスに乗れるように対応していきたいと思います。
(意見) 運動不足解消で森林公園を想定しているようだが、北園保育所の園児も利用していることから、本当に小学校で使えるのか不安。そこも確認していただければと思います。	確認いたします。
(意見) 今回の説明会のご案内が2月に入ってからだったため、レーベンや一丁目の方で自分が対象者だと思っている方は少ないと思う。私も、スクールバス案が選択制になったということを初めて知った。元々の案1～5を検討していると思っている人も多いと思うため、その辺の周知についてしっかり行っていただければと思います。	(意見の為、回答無し)
P39で、今後のスケジュールについて、3月4日アンケート締切で、3月7日の審議会とある。3業務日しかない中、アンケート結果をどのように反映されるのか。また、3月7日に答申で3月中旬に議決とあるが3月中旬とはいつ頃を予定しているのか。元々結果は決まっていて、私たち住民の意見を吸い上げる気がないように感じてしまう。	今日説明した内容は、ほぼ決定ということで、方針案としてはこの案でいきたいと考えています。大変申し訳ないのですが、今回いただいた御意見は制度設計として対応できる部分是对应させていただき、答申案に取り込ませていきたいと考えています。 ここまで急ぐ理由としましては、現在の推計が確実であれば、令和7年度から教室数不足が発生してしまうということで、確実に令和7年度から対策を実施しなければならぬため、令和5年度内に決定しないと令和6年度での周知やバス契約等が間に合いませんので、方針として撤回はできないということを御理解ください。

事後報告会ということですか？ 方針案が決まっているのであれば、アンケートを取る意味もないですね？	細かい部分として、バス停の場所等について、制度設計に色々な御意見を反映させることで、少しでも皆さんに御理解を得られるような案に決めていきたいというところで開催させていただいた事前の説明会、また、事前のアンケートです。
学校新設について要望がある中、市長はどのようにお考えなのか。 なぜ頑なに拒むかをお聞きしたい。 また、避難所としても不足する事態にはならないのか。	新設に対する皆様の意見は市長に伝えさせていただいています。 以前から、守谷駅東側に学校を含め子どもの居場所となる施設が少ないという話は出ているため、市長からは、関係部署で協議するよう指示が出ています。
守谷中学校の増設をプールの跡地で実施した場合、校庭が足りなくなるのではないかと懸念している。	現在もプール施設は残っております。そこを解体し増築をする為、校庭は今のままです。
市が、人口を減らそう減らそうという、発展をあきらめているような施策に感じる。 学校を新設して新しい人口を呼び込もうとする気力が感じられない。 市としてのゴールが見えない。 南守谷や駅前のマンションもあるが、人口を減らそうという考えを感じてしまう。 新設してどんどん人口を増やそうという気力が感じられない。	(意見の為、回答無し)
令和6年度で学校変更を予定している方から、令和6年度は放課後子ども教室の利用料は有料と言われたと聞いた。 令和7年度から利用する方と令和6年度から利用する方で対応が異なるのは違うと考える。	放課後子ども教室再開については、再開時期も決まっていなかったことだったので、担当部署と令和6年度についての対応は相談していませんでした。再開する際には料金についても協議いたします。 令和6年度学校変更者が必ず有料になるということではありません。
保護者が子どもより早く家をでる家庭もあると思うが、そのような家庭のお子さんがスクールバスに乗り遅れた際の対応はどのようにするのか教えていただきたい。	乗降時に確実に乗り忘れを発生させないために、バス停での点呼を徹底するなど基本的なところはしっかりやらせていただきます。 今後、具体的な対策を検討していきます。
新設校の要望は大きいと思うが、令和7年度はもちろん時限的なスクールバスの運用は必要だと思いますが、将来的に分離新設も検討していただくために署名活動はどの程度有効な手段となりますか。	有効ではないとは言えません。おそらく、その場合、請願や陳情という形（の提出）になると思います。 現在、教育委員会で持っているデータを説明させていただきます。 推計値として、令和6年度 628 名（17 教室）、令和11年度に 910 名（25 教室）となる推計。令和18年度になると 416 名となり、令和11年度の半分以上の児童数と、小規模校になっていき、その後は一つしか学級のない単学級になっていきます。そういった推計の中、40～50 億円の予算を割くことができるかがポイントになると思います。さらに、松並青葉周辺に開発

	できる用地があるかということも重要で、新設できれば黒内小学校の過大規模校化や北園交差点の混雑解消につながるため、とても良いとは思いますが、児童推計結果や開発用地の確保について判断が難しいところがあるため、新設は十分な協議が必要と考えます。
郷州小学校が小規模校でなくて、推計上で 400 名規模となる学校を小規模というのはなぜか。御所ヶ丘と郷州小学校は小規模校となるのか？ 先程、推計上、400 名で小規模校となるという説明をしたが、生徒数が郷州小学校より多いのにそのような説明は、都合の良い数字の解釈と思うがどうか。 現在、289 名で 14 クラスとなっている御所ヶ丘小学校、264 名で 14 クラスとなっている郷州小学校がある中、単純に児童数のみで 400 名で小規模校となるという説明はするべきではないと思うがどうか。	400 名で小規模校というのは、単純に普通教室定員の 35 名で割り返したときに、これ以降小規模校となってくるということです。 郷州小学校と御所ヶ丘小学校は小規模校と適正規模校の間となります。 実際の学級数は、学年ごとの人数や特別支援教室もありますので、それより少ない人数でも多くなって小規模校ではない場合もあります。あくまで推計ですので、400 を割り返したときに、それ以降小規模校となってくるということです。 ※事務局追記 国の基準によると、適正規模校の目安は学級数が 18 ～12 とされており、クラス替えが可能な状況等と定義されています。このため、令和 5 年 5 月時点で、郷州小学校は普通教室 11 のため小規模校、御所ヶ丘小学校は普通教室 12 のため、適正規模校となります。
非常に後ろ向きに検討しているように感じる。 松並青葉の住民がいなければこのような状況に陥らなかったということで、松並青葉地区の住民が移動すればよいという古くからの住民の意見もあると思う。 実際に松並青葉地区がスクールバスで移動した御所ヶ丘小と郷州小においても、周辺住民や児童の皆さんが完全にウエルカムで受け入れてくれるかという点に関しても疑問が残る。 少なくとも松並青葉地区が不利益を被っている以上、検討の上では前向きに検討を行っていただきたい。その上で難しければ明確に説明するべきだし、防災の観点からは少なくとも学校用地くらいの規模の施設がないと収容できないと思う。 松並青葉を開発しようとしているのは市だったのに、実際に人口が増えたら困りますというような押しつけは迷惑だと思う。	市長からも守谷駅の東側についても、子どもたちの遊び場として、児童館等の環境整備を協議しなさいという命令を受けていますので、関係部署と協議していきたいと考えています。
先週の図書館の質疑応答で保護者の方から、トイレの時間が短くて漏らしてしまったという話があり、早急	翌日に黒内小学校に確認したところ、そのような事実はありませんとのことでした。

に確認するということだったが結果どうでしたか。	
黒内小学校の情報が少なすぎるため、現状どのような不便があるのかを教えて欲しい。 保護者に選択を迫っている中で、情報が少なすぎるためきれいごとではなく情報を提供して欲しい。	休み時間や体育の時間でスペースが少なくて、子どもたちがのびのび活動できていない不便はあると認識しています。
スクールバスのアプリの作成等で検討とかスクールバス増便を検討する等予定が多くみられるが、どういったことが制約となってこのような表現となっているのか。	私どもとしては、この案で行きたいと考えていますが、正式に決定されてはいないため、このような表現となっています。 予算も議決後の令和6年度になってから確保する形になります。
新設とアプリ等の安全対策とでは温度差が大きくあると思う。そのため、最大限予算確保に努力していただきたい。	予算の確保に努めます。
P34 スクールバス導入案の終了時期について、黒内小学校の児童数が800～900人になった時期に検討とあるが、仮に令和12年でスクールバス終了となったら打ち切りという形になるのか。	その時点でスクールバスを利用している児童については、卒業までスクールバスを運行する予定です。 現在の推計では令和23年度に終了を想定しています。 ただし、スクールバスの対策だけに頼るわけではなく、通学区域変更等も並行して実施していきたいと考えています。
スクールバス終了の際にきょうだいがいた場合は、どちらかのきょうだいが犠牲というか転校することになってしまうのか。	スクールバスを利用している児童が卒業するまでスクールバスを運行する予定です。
もらった意見に対して貴重なご意見ありがとうございました、という対応が見受けられるが、それはこれ以上回答がないものなのか、それともHPで回答を得られるものなのか。 今後決定する内容の連絡方法について、明確にしたい。	情報発信については、分かりやすい内容で全戸配布をすることを検討しています。
市長からの指示内容に、東側の児童館の新設等が挙げられていたが、論点のすり替えで、何人規模の施設でどのような見通しなのか、市長はその程度の指示しかしていないのか。 市長の「新年のあいさつ」を紹介。この「新年のあいさつ」を今一度読んでいただいてから検討会を実施してほしい。 主観ですが、9割以上の人が子どものために松並青葉を選んで住んでいる。 令和25年になればこの施策は忘れられて、一部の人がだけが痛みを感じればいい、という風にしか聞こえない。 だから、みんな色々おっしゃりたいし、意見があるんです。	(意見の為、回答無し)

それを真摯に受け止めているようになっていないから問題なんです。 そう受け取っている方はこのようなことは書けない。 松並青葉がロールモデルのように市長はおっしゃっているが、実際はそうならないという現状をきちんと受け止めてください。	
説明会 3 回目の参加です。 令和元年からの間違いとして、教育委員会だけで抱え込もうとしていることが問題だと思う。 3 回出ていても半分くらいが新設の意見である。 スクールバスの対策を進めると同時に、市の包括的な委員会や審議会を立ち上げるべきだと思う。 都市設計を大きく見直すということを実施していないといけない。 ネガティブな感情で松並青葉の判断となってしまう。 守谷のブランド力を下げてしまう要因になりかねない。 逆転の発想で魅力ある対策に見せることも一案 モコバスを増設して、通学にも活かせる部分もある。 より良い、ポジティブな方向性で施策をやっていただきたいと思います。	(意見の為、回答無し)
検討中案件が多いが、いつそこがはっきりするのか。	4 月の説明会では決定事項をお伝えします。
4 月の説明会は 1 日だけの実施か。	現在 4 月 13, 14 日の 2 日間で実施することを検討しています。
(意見) 今回の説明会の情報も最近知ったこともあり、今後はみんなが分かるように発信していただきたい。	(意見の為、回答無し)